

茨城県移動性・安全性向上委員会

第18回委員会資料 (安全性)

平成28年8月1日

国土交通省 常陸河川国道事務所
茨城県土木部

目次

1. 第17回委員会における主な指摘事項と対応
2. これまでの事故ゼロプランの取り組み
3. 第4次事故危険箇所(案)の対策立案
4. 新たな事故危険区間【第4期】の選定
5. 合同現地診断について
6. 今後のスケジュール

1. 第17回委員会における主な指摘事項と対応

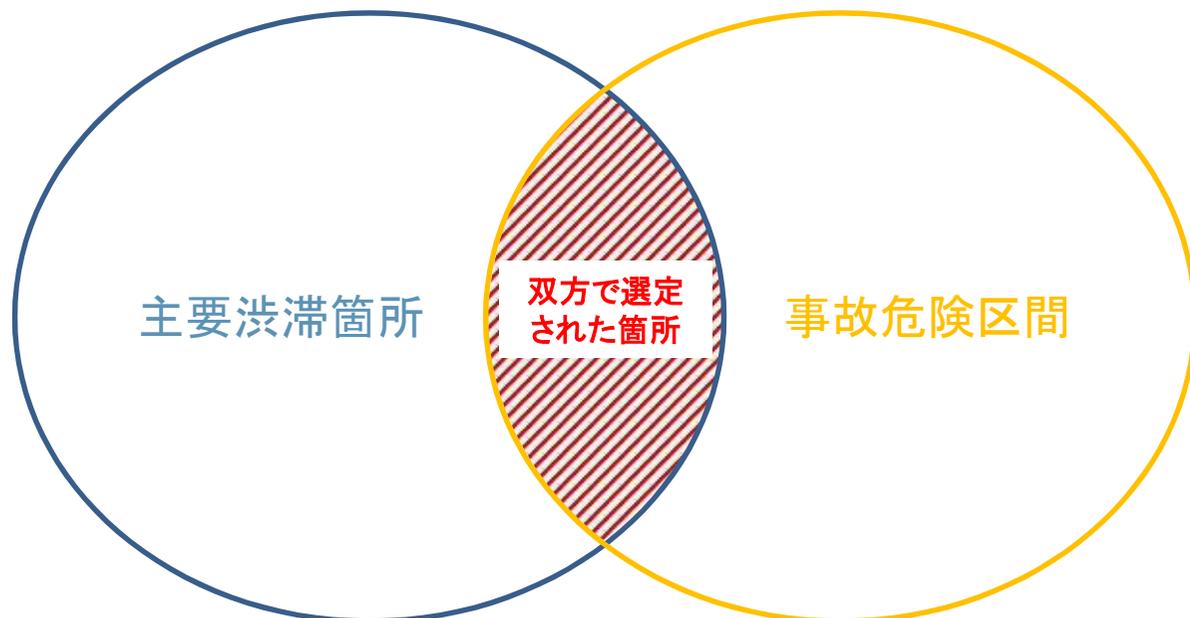
第17回委員会における主な指摘事項と対応

第17回委員会でご指摘を頂いた3つの事項について、対応方針を整理しました。

議事	指摘事項	対応方針
(2) 平成27年度合同現地診断結果について	① 大角豆交差点は、桜土浦IC から出てきた車両が高速道路感覚で走行してしまうため速度が高い傾向にあり、対向右折車が距離感を誤り右直事故が発生してしまう可能性がある。薄層舗装の設置により、速度抑制をする対策を実施してはどうか。	当交差点では注意喚起看板の設置やカラー舗装等が追加対策として示され、実施予定であることや、当交差点付近には民家や沿道施設が数多く張り付いているため、薄層舗装を行った場合、騒音等の苦情が数多く寄せられる可能性があることなどの理由から、薄層舗装は既存の追加対策を実施後、事故が減らなかった場合に再度、検討する。
(3) 新たな事故危険区間（第4期）の指標について	② 事故危険区間（第3期）までに対策が完了した箇所に関して、効果があったのかどうかを考慮しながら新たな対策を検討していく必要がある。	事故危険区間【第1期、第2期】に関しては対策を実施してからある程度期間が経過しているため、事故データによる評価を実施している。「2. これまでの事故ゼロプランの取り組み」にて結果を整理した。
その他	③ 委員会では『移動性』と『安全性』に分け、個別に各課題の要因分析や対策を行ってきたが、この二つの因果関係として、『移動性』の確保を目的とした対策が『安全性』の確保にも効果がある可能性があることから、効率的・効果的な対策を進めるために、総合的に対策を検討する必要がある。	『移動性』（渋滞）が原因で事故が発生している事故危険区間については、『移動性』の改善も考慮して対策を検討する。次頁にイメージを整理した。

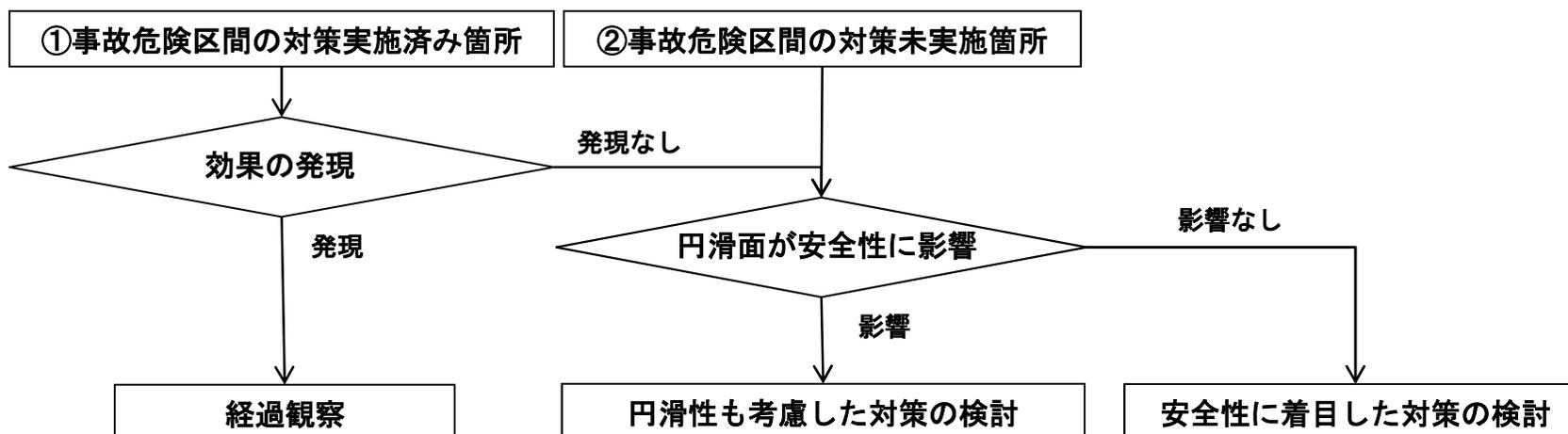
『移動性』と『安全性』の総合的な対策検討の方針

事故危険区間の対策実施済み箇所のうち効果が発現していない箇所および、対策未実施箇所において、『移動性』（渋滞）が原因で事故が多い箇所は、『移動性』も考慮して対策を実施していくこととします。



現状の事故危険区間の対策実施手順

- ・ 事故発生状況を踏まえ、早期に対策実施可能である区画線、注意喚起等のソフト対策を実施。
- ・ 対策効果の発現が小さい（事故危険区間の抽出基準を上回る）区間は、道路改良等のハード対策を実施。



2. これまでの事故ゼロプランの取り組み

2-1. 事故ゼロプランの取り組み

2-2. H17交通安全要対策箇所の対策効果分析

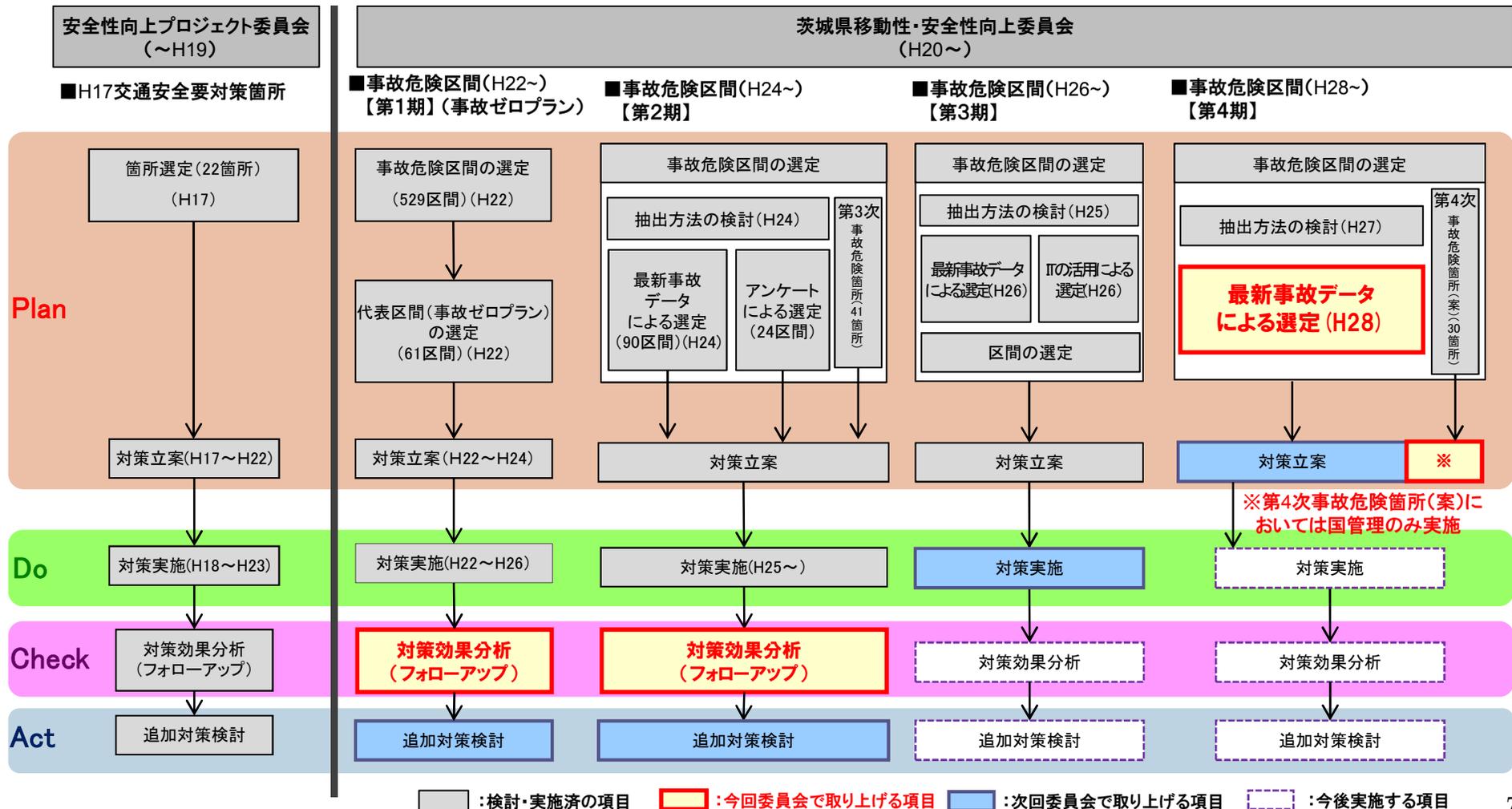
2-3. 茨城県事故危険区間【第1期】の対策効果分析

2-4. 茨城県事故危険区間【第2期】の対策実施状況

2-1. 事故ゼロプランの取り組み

事故ゼロプランの取り組みについて

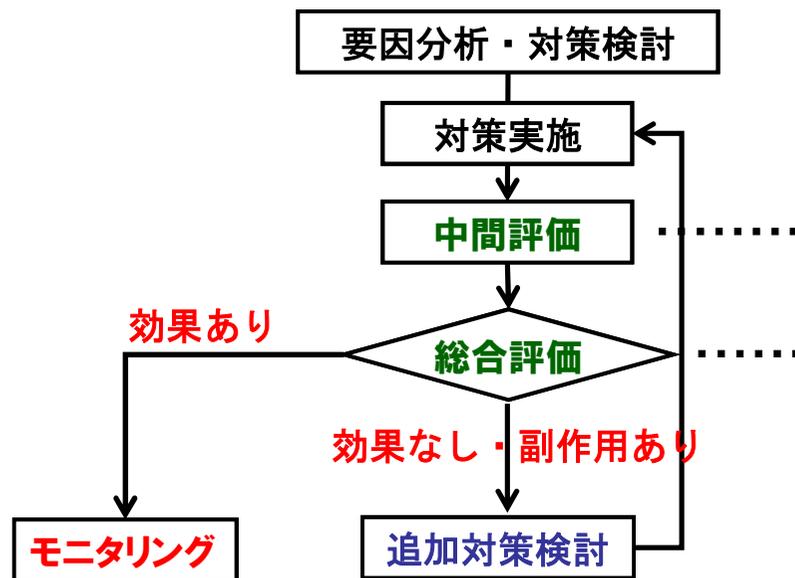
- ・第17回委員会で事故危険区間【第4期】の抽出方法について提案し、承認をいただきました。
- ・今回の委員会では、「対策実施箇所の対策効果分析」、「事故危険区間【第4期】の最新事故データによる選定」、「第4次事故危険箇所(案)の対策立案」について取り上げます。



事故危険区間のフォローアップルール

- ・事故危険区間において事故を確実に削減させるため、事故データの更新にあわせて、毎年、フォローアップを実施します。
- ・対策実施後2年間のデータで中間評価を行い、対策実施後4年間の事故データで総合評価を実施することで承認を得ています。(第6回委員会)
- ・総合評価では、最新の事故データによる各指標の数値が第1期事故危険区間の選定指標より下回っていることを確認します。
- ・選定基準を下回っていない区間については、今後、追加対策を検討します。

■効果評価のフロー



※抽出された区間は、事故の危険性が高い箇所であることから、事故が増加に転じないか常にモニタリングしていく

効果評価

■フォローアップ対象

中間評価: 対策実施後の事故データが2年以上蓄積

総合評価: 対策実施後の事故データが4年分蓄積

■効果評価の視点

<中間評価>

①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(事故減少検証)

②対策前後で事故の種類や当事者別の発生件数を比較(副作用検証)

<総合評価>

①、②の評価に加えて、③選定指標以下となっているかを検証

【選定指標】

区分	選定指標	選定基準※
総合的な指標	①死傷事故率	300件/億台キロ 以上
	②死傷事故件数	31件(平均の 5倍) 以上
	③死亡者数	2人(平均の1.8倍) 以上
県内の特徴的な事故に関する指標	④歩行者自転車事故	8件(平均の4.2倍) 以上
	⑤夜間事故	15件(平均の 5倍) 以上
	⑥子供事故	3件(平均の2.5倍) 以上
	⑦高齢者事故	5件(平均の3.6倍) 以上
	⑧横断歩行者事故	5件(平均の3.6倍) 以上
	⑨追突事故	21件(平均の 5倍) 以上
	⑩正面衝突事故	2件(平均の1.8倍) 以上

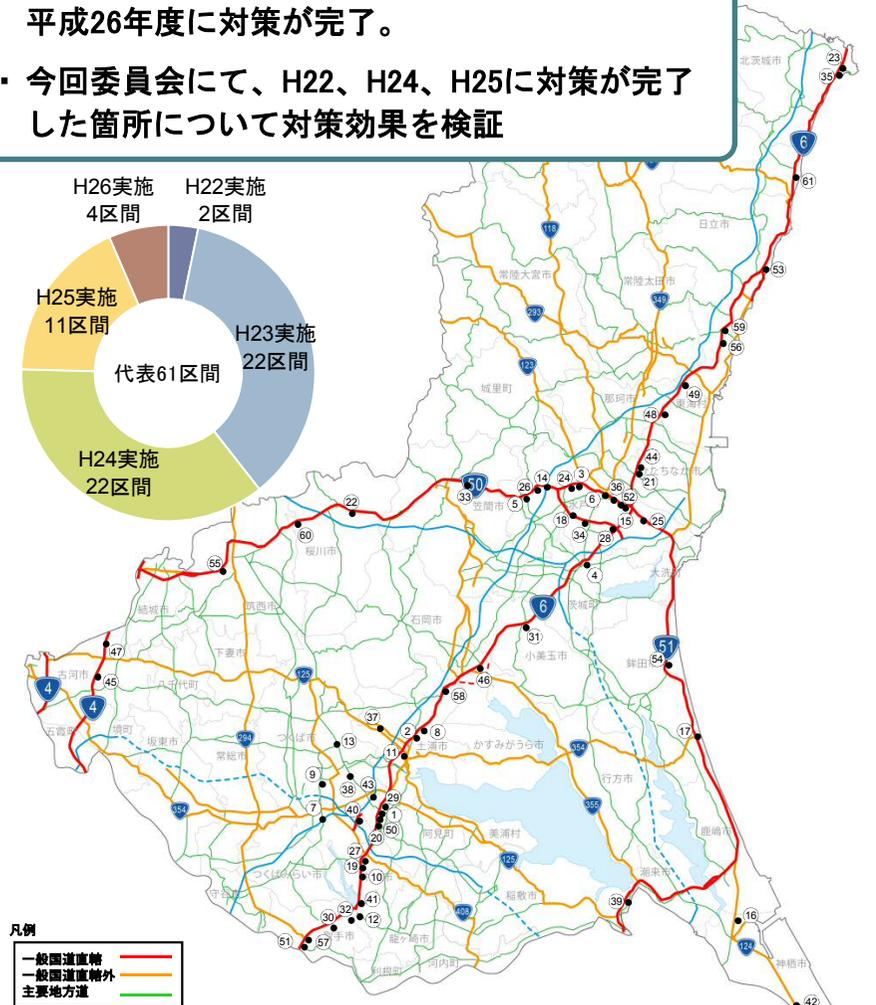
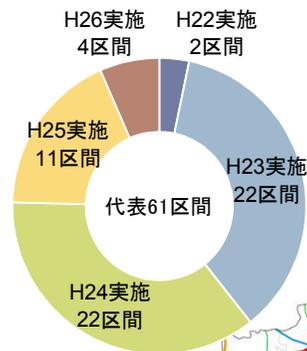
※数値は、対象事故が発生している箇所における選定当時の事故データ4年分(H17-H20)の値

2-2. 茨城県事故危険区間【第1期】の 実施状況と対策効果分析

代表61区間の実施状況

■事業進捗状況

- 事故危険区間（代表区間：61区間）について、平成26年度に対策が完了。
- 今回委員会にて、H22、H24、H25に対策が完了した箇所について対策効果を検証



H22対策済 (H23～H26の事故データで評価)【総合評価】: 2区間
H24対策済 (H25～H26の事故データで評価)【中間評価】: 22区間
H25対策済 (H26の事故データで評価)【速報値】: 11区間

No	管理	路線名	市町村	箇所名	選定の視点			死傷事故率 (件/億台キロ) 【H17-20】	対策年
					① 死傷事故率	② 利用者の声	③ 特徴的な事故		
18	国	一般国道50号	水戸市	見川町交差点	○			390.20	H22
43	県	一般国道354号	つくば市	下広岡交差点		○		239.10	H22
4	国	一般国道6号	東茨城郡茨城町	長岡新田交差点	○	○		509.54	H23
5	国	一般国道50号	水戸市	隣線橋北交差点	○			491.45	H23
6	国	一般国道50号	水戸市	大工町2丁目交差点	○			481.17	H23
7	県	主要地方道19号	つくば市	善正交差点	○	○		476.53	H23
17	国	一般国道51号	鉾田市	大洋総合支所入口交差点	○			391.84	H23
19	国	一般国道6号	牛久市	田宮町交差点	○			386.91	H23
21	国	一般国道6号	ひたちなか市	少年刑務所北側交差点	○			367.81	H23
22	国	一般国道50号	桜川市	(仮)東橋所北側交差点	○			359.71	H23
23	国	一般国道6号	北茨城市	常北中下交差点	○			354.07	H23
26	国	一般国道50号	水戸市	谷田町交差点	○			349.81	H23
26	国	一般国道50号	水戸市	大足東交差点	○			346.90	H23
33	国	一般国道50号	笠間市	(仮)才木(渡)交差点	○			322.58	H23
34	国	一般国道50号	水戸市	千波渡通付交差点	○			322.34	H23
35	国	一般国道6号	北茨城市	(仮)仁井田(南)交差点	○			321.88	H23
37	県	一般国道125号	土浦市	新治庁舎南交差点	○	○		317.21	H23
39	国	一般国道51号	福敷市	(仮)境島(南)交差点	○			307.45	H23
45	国	一般国道4号	古河市	大和田交差点		○		198.44	H23
47	国	一般国道4号	古河市	上片田付近交差点		○		130.32	H23
49	国	一般国道6号	日立市	下土木内町交差点		○		101.58	H23
51	国	一般国道6号	取手市	取手駅前入口交差点		○		235.73	H23
54	国	一般国道51号	鉾田市	鉾山(単路区間)		○		196.23	H23
60	国	一般国道50号	桜市	上野原地新田(単路区間)		○		125.85	H23
9	県	一般国道123号	つくば市	大境交差点	○	○		459.60	H24
12	県	一般国道208号	龍ヶ崎町	小道谷谷交差点	○			452.51	H24
13	県	主要地方道85号	つくば市	台理入口交差点	○	○		448.31	H24
14	国	一般国道50号	水戸市	常盤道高架下交差点	○			431.48	H24
15	国	一般国道51号	水戸市	城南3丁目交差点	○	○		424.37	H24
16	県	一般国道124号	神栖市	掘割川交差点	○	○		397.23	H24
24	国	一般国道50号	水戸市	大塚町交差点	○			352.86	H24
27	国	一般国道6号	牛久市	柏田町交差点	○			338.55	H24
28	国	一般国道50号	水戸市	吉田小東交差点	○			332.81	H24
30	国	一般国道6号	取手市	小浮気交差点	○	○		330.02	H24
31	国	一般国道6号	小美玉市	堅倉交差点	○			326.86	H24
36	国	一般国道51号	水戸市	三の丸1、2丁目交差点周辺	○	○		265.23	H24
38	県	主要地方道85号	つくば市	近隣公園入口交差点	○	○		316.70	H24
40	県	一般国道273号	つくば市	藤敷台交差点	○			544.60	H24
42	県	一般国道124号	神栖市	西宝山交差点	○			248.90	H24
44	国	一般国道6号	ひたちなか市	田彦二本松交差点	○			220.68	H24
48	国	一般国道6号	那珂市	笠松交差点	○			110.34	H24
52	国	一般国道51号	水戸市	柳塚橋交差点		○		233.40	H24
56	国	一般国道6号	日立市	鳩山十字路交差点		○		181.88	H24
57	国	一般国道6号	取手市	国道294号入口交差点		○		176.80	H24
59	国	一般国道6号	日立市	千石町2丁目(単路区間)		○		140.99	H24
61	国	一般国道6号	高萩市	東本町3丁目(単路区間)		○		121.83	H24
2	国	一般国道6号	かすみがうら市	(仮)中興工業団地入口(北)交差点	○			764.04	H25
3	国	一般国道50号	水戸市	石川町交差点周辺※4	○	○		624.01	H25
8	国	一般国道6号	かすみがうら市	(仮)清水(北)交差点周辺※2	○	○		551.40	H25
10	国	一般国道6号	牛久市	(仮)牛久駅西出口(南)交差点	○			459.46	H25
11	国	一般国道6号	土浦市	(仮)真鍋踏道橋(南)交差点	○	○		459.32	H25
20	国	一般国道6号	土浦市	荒川沖交差点	○	○		382.94	H25
29	国	一般国道6号	土浦市	原の前交差点	○	○		331.88	H25
32	県	一般国道208号	取手市	文巻橋交差点	○			323.22	H25
41	国	一般国道6号	龍ヶ崎町	庄兵衛新田町(区間)	○	○		253.91	H25
55	国	一般国道50号	筑西市	葦戸(単路区間)		○		195.54	H25
58	国	一般国道6号	かすみがうら市	下土田(単路区間)		○		150.55	H25
1	国	一般国道6号	土浦市	学園東大通り入口交差点周辺※1	○	○		841.93	H26
46	国	一般国道6号	石岡市	石岡市役所入口交差点	○	○		190.71	H26
50	国	一般国道6号	土浦市	(仮)学園大通り入口(南)交差点	○	○		255.30	H26
53	国	一般国道6号	日立市	田尻町4丁目(単路区間)	○	○		219.12	H26

<事故危険区間選定の視点>

① 死傷事故率	死傷事故率が高い(死傷事故率300件/億台キロ以上)区間を選定
② 利用者の声	パブリックコメント、道路利用者の声などから交通安全対策が必要と判断した区間を選定
③ 特徴的な事故	死亡事故、歩行者・自転車事故、夜間事故、高齢者事故、横断歩行者事故、追突事故、正面衝突など県内の特徴的な事故のいずれかが多く発生している区間を選定

茨城県事故危険区間【第1期】の対策効果（総合評価：①総事故、②着目事故）

平成22年に対策を実施した2箇所のうち、No.43下広岡交差点において総事故件数が増加傾向にあります。（選定指標との比較ではどちらの箇所も選定指標を下回っている。）
No.43下広岡交差点は、中間評価の結果を踏まえて、前回委員会までに追加対策を検討するとともに、H27に合同現地診断を行っています。

■ H22対策実施区間の総合評価（H23～H26の4年間の事故データ）

追記箇所

①総事故

No	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	着目事故	対策工程	総事故		
								平均件数(件/年)	増減率	
18	国	一般国道50号	水戸市	見川町交差点	H22	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」、カラー舗装、導流帯、右折指導線	5.8	2.8	-52.2%
43	県	一般国道354号	つくば市	下広岡交差点	H22	追突	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」	2.8	3.0	9.1%

対策前：H17～H20(抽出時)年平均 対策後：H23～H26年平均 ■：削減した箇所

②着目事故

No	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	着目事故			着目事故①			着目事故②			着目事故③		
						①	②	③	平均件数(件/年)		増減率	平均件数(件/年)		増減率	平均件数(件/年)		増減率
									対策前	対策後		対策前	対策後		対策前	対策後	
18	国	一般国道50号	水戸市	見川町交差点	H22	追突	右折時		2.0	2.0	0.0%	2.0	0.0	-100.0%			
43	県	一般国道354号	つくば市	下広岡交差点	H22	追突			2.5	1.3	-50.0%						

対策前：H17～H20(抽出時)年平均 対策後：H23～H26年平均 ■：削減した箇所

③選定指標

No	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	基本指標			地域指標						
						死傷事故率	死傷事故件数	死者数	歩行者・自転車事故	夜間事故	子供事故	高齢者事故	横断歩行者事故	追突事故	正面衝突事故
						300	31	2	8	15	3	5	5	21	2
18	国	一般国道50号	水戸市	見川町交差点	H22	189.6	11	0	1	5	0	3	0	8	0
43	県	一般国道354号	つくば市	下広岡交差点	H22	252.3	12	0	1	6	0	0	1	5	0

追記箇所

対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

しもひろおか

【No.43】国道354号 つくば市 下広岡交差点

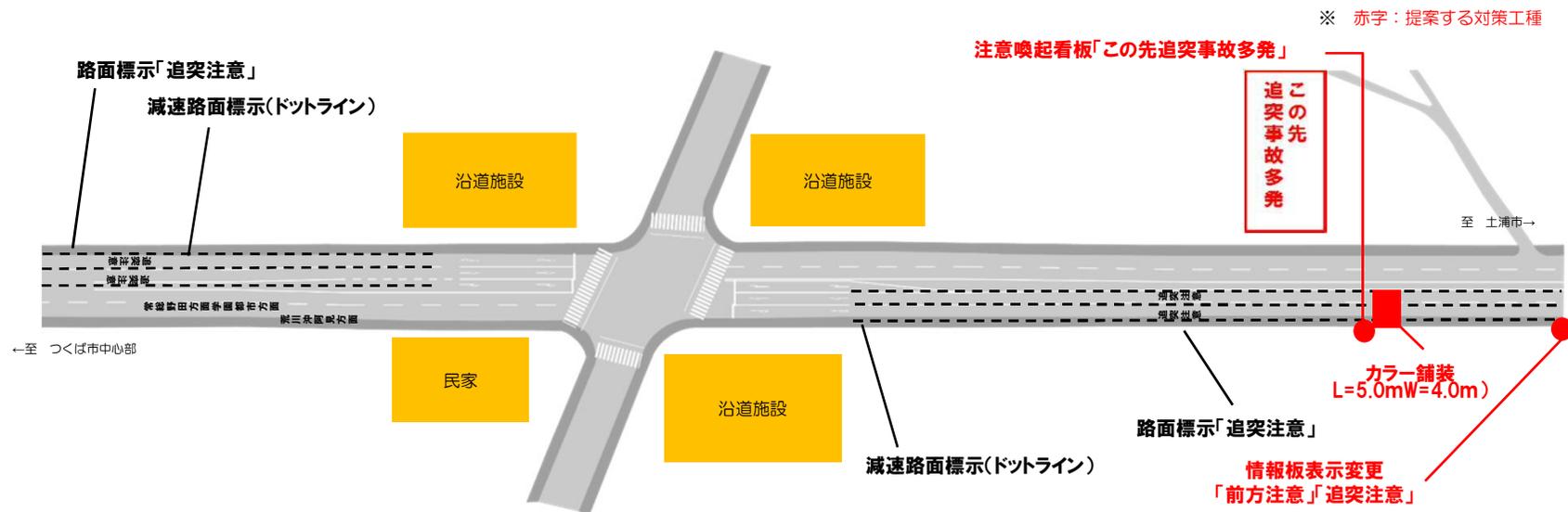
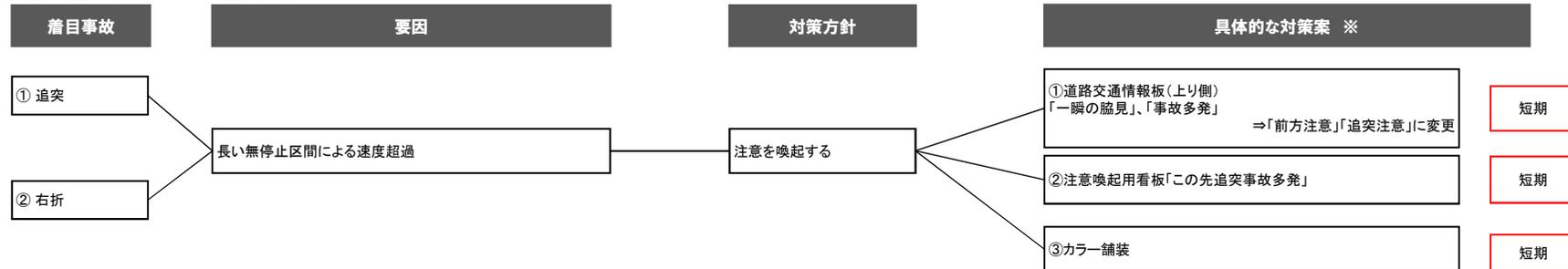
H27合同現地診断資料より(第17回委員会)

② 対策案

第1期事故危険区間

■課題に対する対策立案方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策 「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策



茨城県事故危険区間【第1期】の対策効果(中間評価：①総事故)

平成24年に対策を実施した22箇所のうち17箇所で、総事故件数が減少傾向にあります。しかし、No.12小通幸谷交差点、No.24大塚町交差点、No.27柏田町交差点、No.40屋敷台交差点、No.61東本町3丁目(単路区間)の5箇所は、総事故件数が増加しています。

■ H24対策実施区間の中間評価 (H25～H26の2年間の事故データ)

No	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	着目事故	対策工程	総事故		増減率
								平均件数(件/年)	増減率	
								対策前	対策後	
9	県	一般県道123号	つくば市	大境交差点	H24	追突、右折時、出会い頭	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」	4.5	2.0	-55.6%
12	県	一般県道208号	龍ヶ崎市	小通幸谷交差点	H24	追突	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、導流帯、右折指 導線、横断歩道設置、横断歩道・停止線の前出し	3.5	3.5	0.0%
13	県	主要地方道55号	つくば市	台坪入口交差点	H24	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「交差点注意」、法定外看板 「右折車注意」「対向直進車注意」	4.0	2.5	-37.5%
14	国	一般国道50号	水戸市	常磐道高架下交差点	H24	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、LED式法定外看 板「速度注意⇔交差点あり」、カラー舗装、導流帯、右折指 導線	6.3	3.0	-52.0%
15	国	一般国道51号	水戸市	城南3丁目交差点	H24	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」、カラー舗装、導流 帯、指導線、右折車線改良	5.0	1.0	-80.0%
16	県	一般国道124号	神栖市	掘割川交差点	H24	追突、右折時、出会い頭	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」	4.8	1.5	-68.4%
24	国	一般国道50号	水戸市	大塚町交差点	H24	追突	中央帯ゼブラ、カラー舗装、右折指導線	2.8	3.0	9.1%
27	国	一般国道6号	牛久市	柏田町交差点	H24	追突、右折時	みなし右折車線、中央帯ゼブラ	3.5	3.5	0.0%
28	国	一般国道50号	水戸市	吉田小東交差点	H24	追突	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、法定外看板「この 先交差点」	6.0	1.5	-75.0%
30	国	一般国道6号	取手市	小浮気交差点	H24	追突、右折時	右折車線改良、導流帯、右折指 導線、減速路面標示(ドットライン)、路 面標示「速度注意」、LED式法定外看板「速度注意⇔交差点あり」	7.0	2.5	-64.3%
31	国	一般国道6号	小美玉市	堅倉交差点	H24	追突、出会い頭	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、導流帯	3.5	0.5	-85.7%
36	国	一般国道51号	水戸市	三の丸1、2丁目交差点周辺	H24	追突、出会い頭、その他車両相 互	カラードットライン、案内標識の見直し、指導線	6.3	0.0	-100.0%
38	県	主要地方道55号	つくば市	近隣公園入口交差点	H24	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」、法定外看板「直 進車注意」	3.3	1.0	-69.2%
40	県	一般県道273号	つくば市	屋敷台交差点	H24	追突、左折時、出会い頭	つくばイオンモールの建設に伴う交差点改良実施のため経過観察	1.3	2.0	60.0%
42	県	一般国道124号	神栖市	西宝山交差点	H24	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」、法定外看板「直 進車注意」、右折指導線	2.0	0.5	-75.0%
44	国	一般国道6号	ひたちなか市	田彦二本松交差点	H24	右折時、出会い頭	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、右折車線改良、 導流帯、右折指導線	3.0	1.5	-50.0%
48	国	一般国道6号	那珂市	笠松交差点	H24	追突	減速路面標示(ドットライン)、法定外看板「この先車線減少」「この先 出入注意」	1.5	0.0	-100.0%
52	国	一般国道51号	水戸市	柳堤橋交差点	H24	出会い頭、人対車両	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、導流帯、右折指 導線	2.8	0.0	-100.0%
56	国	一般国道6号	日立市	塙山十字路交差点	H24	正面衝突	導流帯の引き直し	2.3	0.5	-77.8%
57	国	一般国道6号	取手市	国道294号入口交差点	H24	左折時、右折時	導流帯、右折指導線、ガードパイプ、植栽の撤去	3.8	1.0	-73.3%
59	国	一般国道6号	日立市	千石町2丁目(単路区間)	H24	追突、出会い頭	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、カラー舗装	3.0	1.5	-50.0%
61	国	一般国道6号	高萩市	東本町3丁目(単路区間)	H24	追突	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」	2.0	3.5	75.0%
								81.8	36.0	-56.0%

対策前:H17～H20(抽出時)年平均 対策後:H25～H26 ■:削減した箇所

茨城県事故危険区間【第1期】の対策効果(中間評価：②着目事故)

平成24年に対策を実施した22箇所は、着目事故件数に関しても、全体的に減少傾向にあります。

■ H24対策実施区間の中間評価 (H25～H26の2年間の事故データ)

No	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	着目事故			着目事故①			着目事故②			着目事故③		
						①	②	③	平均件数(件/年)		増減率	平均件数(件/年)		増減率	平均件数(件/年)		増減率
									対策前	対策後		対策前	対策後		対策前	対策後	
9	県	一般県道123号	つくば市	大境交差点	H24	追突	右折時	出会い頭	1.3	0.0	-100.0%	1.8	1.5	-14.3%	1.3	0.0	-100.0%
12	県	一般県道208号	龍ヶ崎市	小通幸谷交差点	H24	追突			1.3	1.5	20.0%			-			-
13	県	主要地方道55号	つくば市	台坪入口交差点	H24	追突	右折時		1.0	1.5	50.0%	2.3	1.0	-55.6%			-
14	国	一般国道50号	水戸市	常磐道高架下交差点	H24	追突	右折時		4.3	1.5	-64.7%	1.3	1.0	-20.0%			-
15	国	一般国道51号	水戸市	城南3丁目交差点	H24	追突	右折時		2.8	1.0	-63.6%	1.3	0.0	-100.0%			-
16	県	一般国道124号	神栖市	掘割川交差点	H24	追突	右折時	出会い頭	2.8	1.0	-63.6%	1.5	0.5	-66.7%	0.3	0.0	-100.0%
24	国	一般国道50号	水戸市	大塚町交差点	H24	追突			1.5	2.5	66.7%			-			-
27	国	一般国道6号	牛久市	柏田町交差点	H24	追突	右折時		1.3	3.0	140.0%	1.0	0.5	-50.0%			-
28	国	一般国道50号	水戸市	吉田小東交差点	H24	追突			4.3	1.0	-76.5%			-			-
30	国	一般国道6号	取手市	小浮気交差点	H24	追突	右折時		3.5	0.5	-85.7%	3.3	1.5	-53.8%			-
31	国	一般国道6号	小美玉市	堅倉交差点	H24	追突	出会い頭		1.5	0.0	-100.0%	1.0	0.0	-100.0%			-
36	国	一般国道51号	水戸市	三の丸1、2丁目交差点周辺	H24	追突	出会い頭	その他車両相互	2.0	0.0	-100.0%	1.3	0.0	-100.0%	0.8	0.0	-100.0%
38	県	主要地方道55号	つくば市	近隣公園入口交差点	H24	追突	右折時		1.5	0.5	-66.7%	1.3	0.5	-60.0%			-
40	県	一般県道273号	つくば市	屋敷台交差点	H24	追突	左折時	出会い頭	0.3	1.0	300.0%	0.3	1.0	300.0%	0.3	0.0	-100.0%
42	県	一般国道124号	神栖市	西宝山交差点	H24	追突	右折時		1.0	0.0	-100.0%	0.8	0.0	-100.0%			-
44	国	一般国道6号	ひたちなか市	田彦二本松交差点	H24	右折時	出会い頭		1.3	0.0	-100.0%	1.0	0.0	-100.0%			-
48	国	一般国道6号	那珂市	笠松交差点	H24	追突			1.3	0.0	-100.0%			-			-
52	国	一般国道51号	水戸市	柳堤橋交差点	H24	出会い頭	人対車両		0.8	0.0	-100.0%	1.3	0.0	-100.0%			-
56	国	一般国道6号	日立市	塙山十字路交差点	H24	正面衝突			0.5	0.0	-100.0%			-			-
57	国	一般国道6号	取手市	国道294号入口交差点	H24	左折時	右折時		1.0	0.0	-100.0%	0.8	0.5	-33.3%			-
59	国	一般国道6号	日立市	千石町2丁目(単路区間)	H24	追突	出会い頭		1.3	1.0	-20.0%	0.8	0.0	-100.0%			-
61	国	一般国道6号	高萩市	東本町3丁目(単路区間)	H24	追突			1.8	3.0	71.4%			-			-

対策前: H17-H20(抽出時)年平均 対策後: H25-H26 ■: 削減した箇所

対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

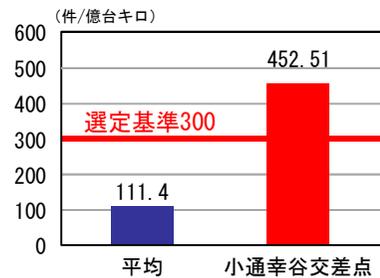
【No.12】 県道208号 龍ヶ崎市 小通幸谷交差点

○位置図



○選定の視点

死傷事故率が300以上のため
事故危険区間に選定
(参考) 死傷事故率
H17-20: 452.51件/億台キロ



○対策(H24年完了)

対策の内容

減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、導流帯、右折指導線、横断歩道設置、横断歩道・停止線の前出し

対策前



対策後



原因

○事故発生状況

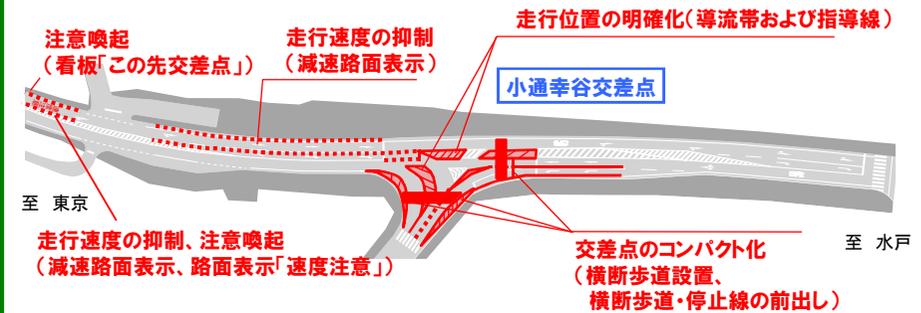
事故発生状況と利用者の声

- ① 交差点内で、追突事故が発生



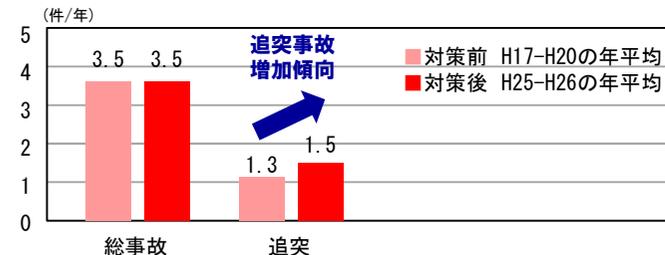
要因分析

- ① 下り線が下り勾配のため、高い速度による交差点でのブレーキ遅れ
- ② 県道が斜めに取り付くため交差点が広くなり走行位置が不明確
- ③ 交差点内での左折の距離が長いいため左折車の速度超過



○対策の効果

総事故は横ばいである一方で、追突事故は増加傾向



対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

だいつほいりぐち

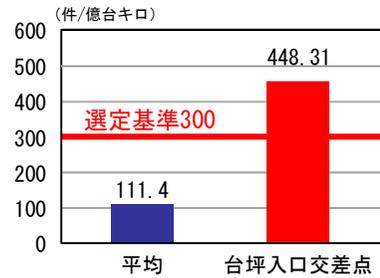
【No.13】主要地方道55号 つくば市 台坪入口交差点

○位置図



○選定の視点

死傷事故率が300以上のため
事故危険区間に選定
(参考) 死傷事故率
H17-20 : 448.31件/億台キロ



○対策(H24年完了)

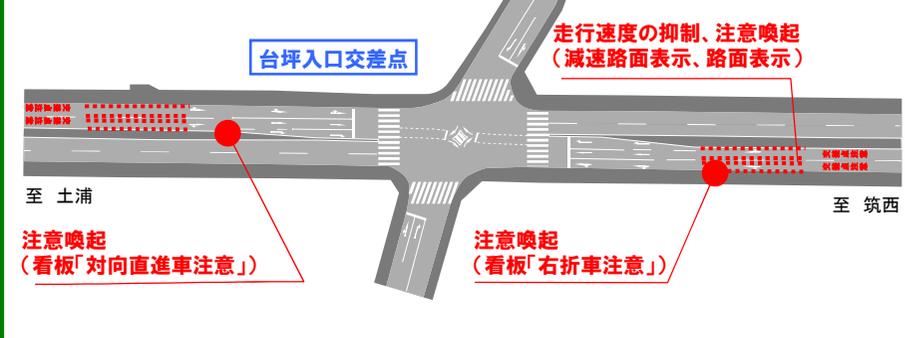
対策の内容

減速路面標示(ドットライン)、路面標示、
法定外看板「右折車注意」「対向直進車注意」

対策前



対策後

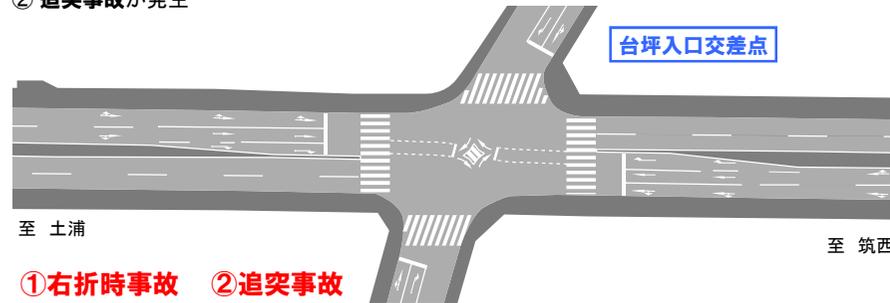


原因

○事故発生状況

事故発生状況と利用者の声

- ① 右折時事故が発生
- ② 追突事故が発生

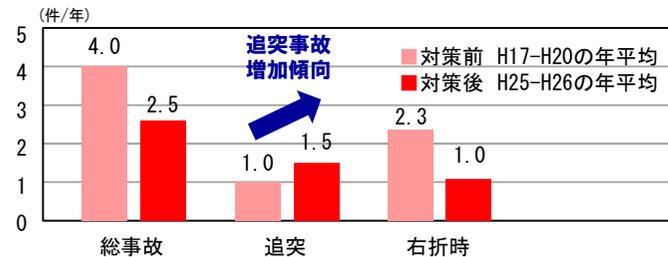


要因分析

- ① 速度超過傾向あり、右折車は対向直進車の速度を見誤りやすい
- ② 速度超過による交差点でのブレーキの遅れ

○対策の効果

総事故および右折時事故が減少している一方で、追突事故は増加傾向



対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

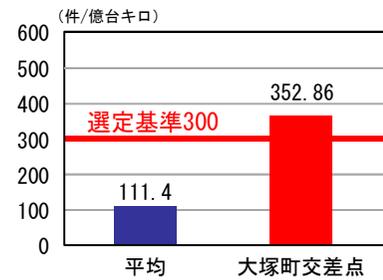
【No.24】国道50号 水戸市 おおつかちょう 大塚町交差点

○位置図



○選定の視点

死傷事故率が300以上のため
事故危険区間に選定
(参考) 死傷事故率
H17-20 : 352.86件/億台キロ

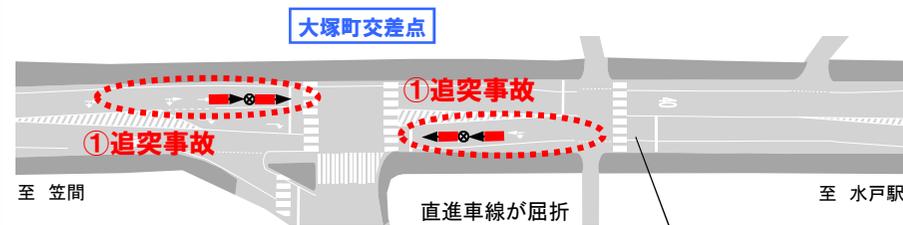


原因

○事故発生状況

事故発生状況と利用者の声

- ① 交差点手前で、追突事故が発生



要因分析

- ① 対向右折車線等の設置により、直進車線が屈折し、進行方向が不明確

○対策(H23年完了)

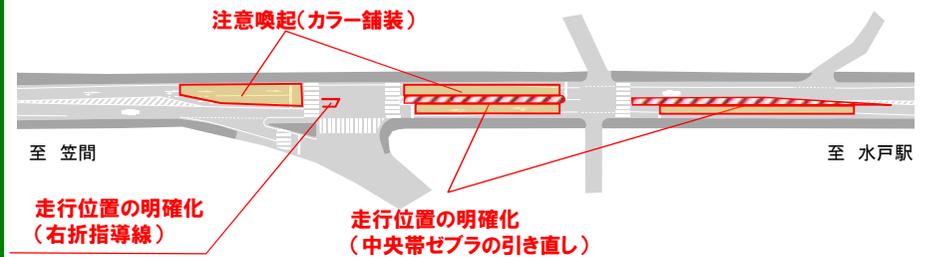
対策の内容

中央帯ゼブラ、カラー舗装、右折指導線

対策前

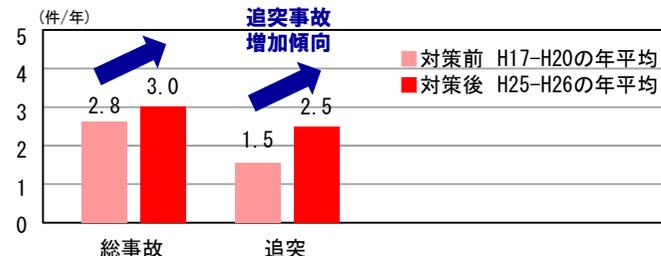


対策後



○対策の効果

総事故および追突事故いずれも増加傾向



対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

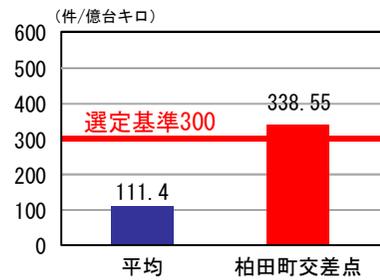
【No.27】国道6号 牛久市 柏田町交差点

○位置図



○選定の視点

死傷事故率が300以上のため
事故危険区間に選定
(参考) 死傷事故率
H17-20 : 338.55件/億台キロ



○対策(H23年完了)

対策の内容

みなし右折車線、中央帯ゼブラ

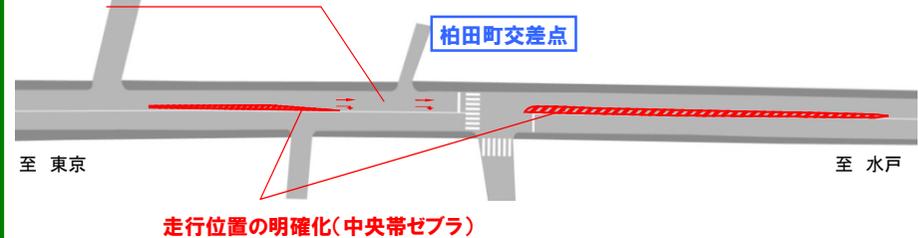
対策前



対策後



右折車滞留スペースの確保
(みなし右折車線の設置)

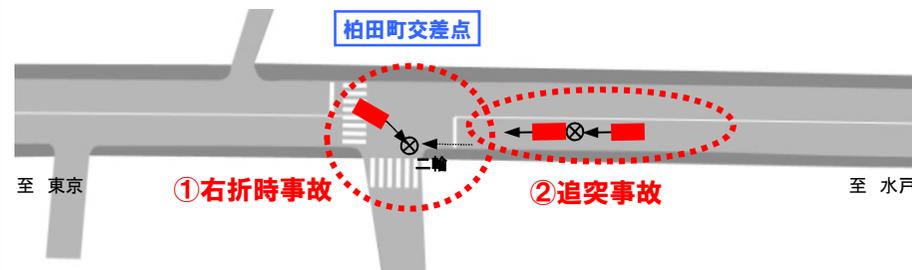


原因

○事故発生状況

事故発生状況と利用者の声

- ① 交差点内で、国道6号の右折車と対向二輪車の右折時事故が発生
- ② 交差点手前で、追突事故が発生

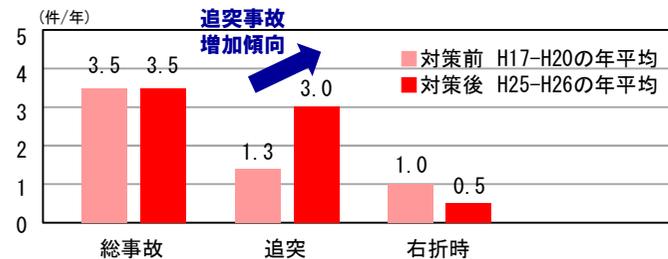


要因分析

- ① 右折と直進の車線が分離されておらず対向車の見通しが不明瞭
- ② 対向車の無理な右折行動による急減速

○対策の効果

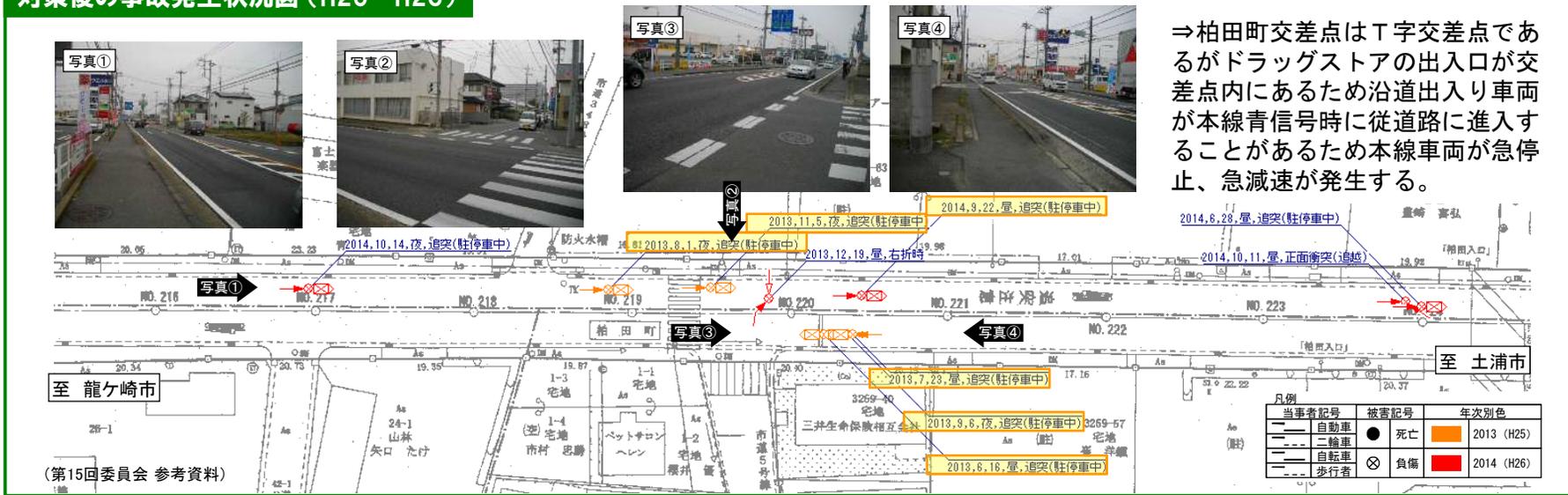
総事故は横ばい、右折時事故が減少している一方で、追突事故は増加傾向



対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

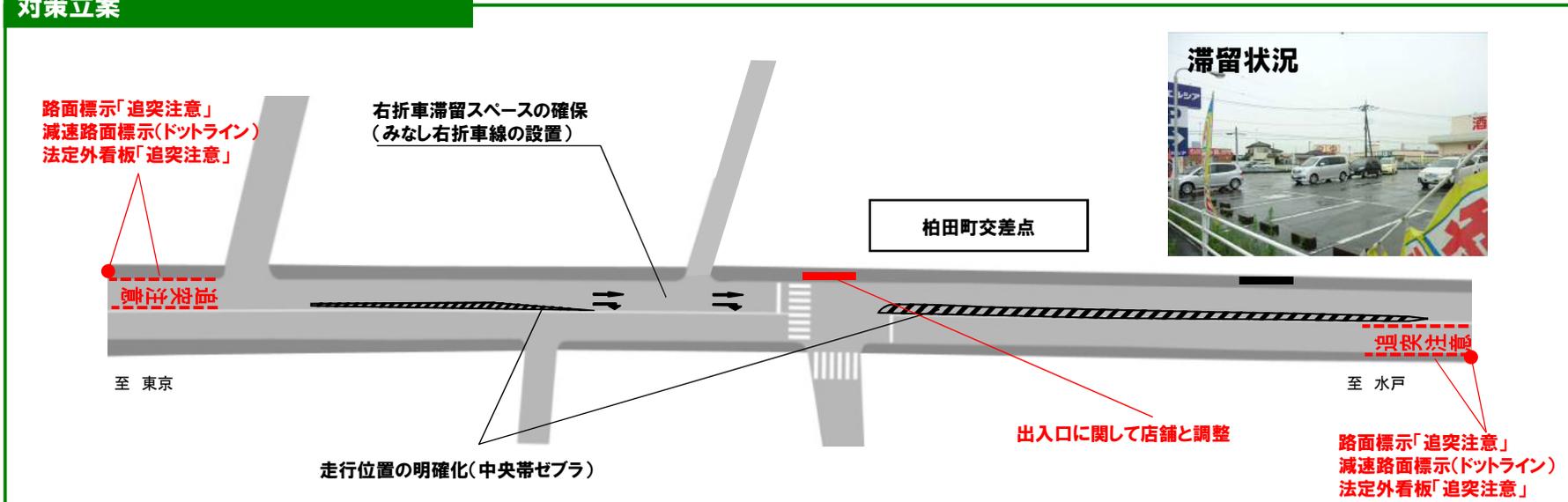
【No.27】国道6号 牛久市 柏田町交差点

対策後の事故発生状況図 (H25～H26)



→柏田町交差点はT字交差点であるがドラッグストアの出入口が交差点内にあるため沿道出入り車両が本線青信号時に従道路に進入することがあるため本線車両が急停止、急減速が発生する。

対策立案



対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

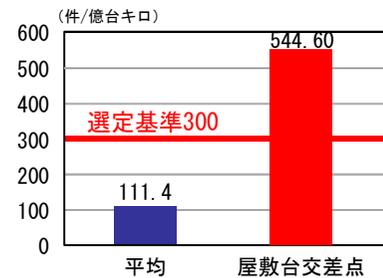
【No.40】 県道273号 つくば市 屋敷台交差点 やしきだい

○位置図



○選定の視点

死傷事故率が300以上のため
事故危険区間に選定
(参考) 死傷事故率
H17-20 : 544.60件/億台キロ

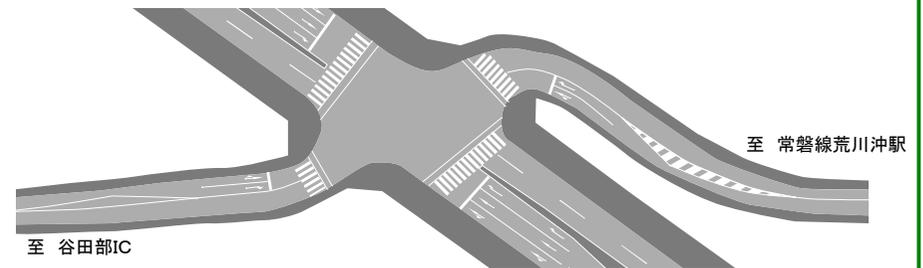


○対策(H24年完了)

対策の内容

つくばイオンモールの開発に係る交差点改良が実施されたので経過観察

平成23年から24年の間に交差点改良工事が実施されたため、経過観察扱いとした。

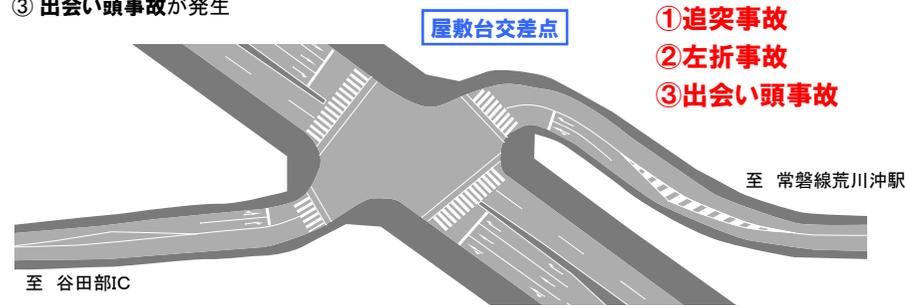


原因

○事故発生状況

事故発生状況と利用者の声

- ① 追突事故が発生
- ② 左折時事故が発生
- ③ 出会い頭事故が発生

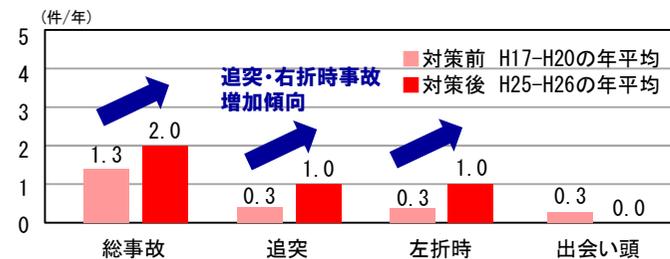


要因分析

- ① 速度超過による交差点でのブレーキの遅れ

○対策の効果

出会い頭事故のみ減少、総事故および追突・右折時事故は増加傾向



対策実施箇所の紹介 (対策後に事故が増加した箇所)

【No.61】国道6号 高萩市 東本町3丁目 (単路区間)

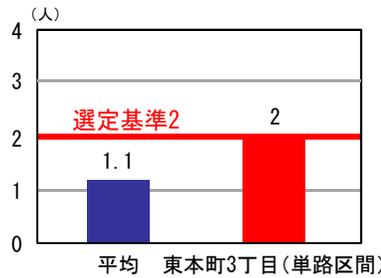
たかはぎ ひがしほんちょう

○位置図



○選定の視点

死者数が2人以上のため
事故危険区間に選定
(参考) 死者数
H17-20 : 2人



○対策(H23年完了)

対策の内容

減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」

対策前



対策後

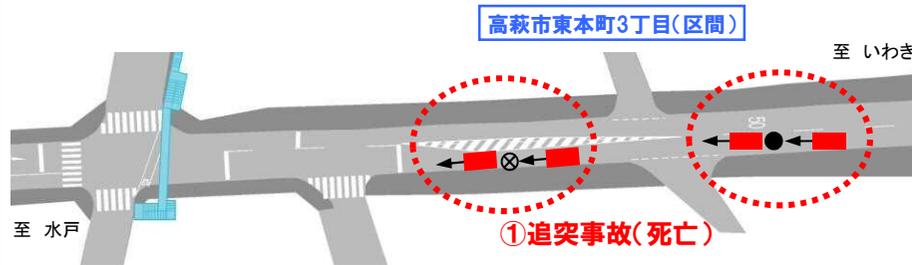


原因

○事故発生状況

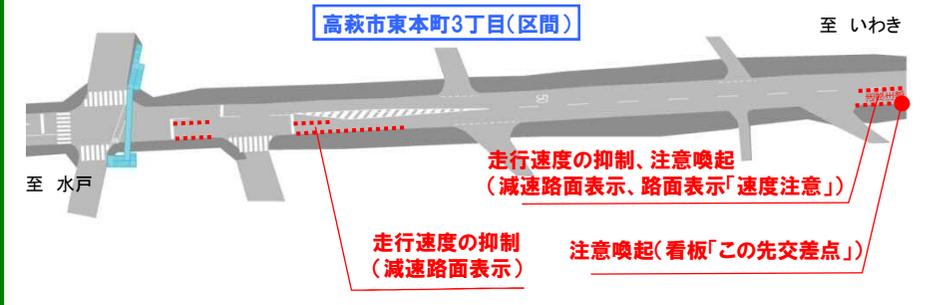
事故発生状況と利用者の声

① 単路部で、追突事故(死亡)が発生



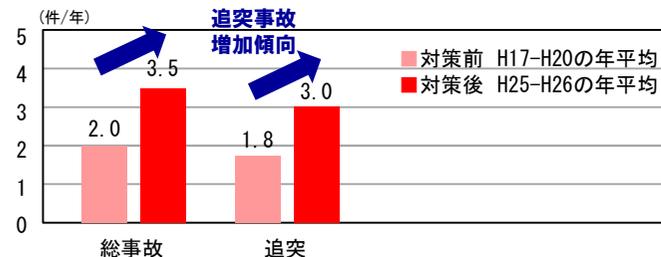
要因分析

① 高い速度による交差点でのブレーキの遅れ



○対策の効果

総事故および追突事故いずれも増加傾向



茨城県事故危険区間【第1期】の対策効果(速報値：①総事故)

平成25年に対策を実施した11箇所のうち、10箇所では総事故件数、着目事故件数ともに減少傾向にあります。今後、中間評価を実施、継続的にモニタリングを実施していきます。

■ H25対策実施区間の速報値 (H26の1年間の事故データ)

①総事故

No	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	着目事故	対策工種	総事故		増減率
								平均件数(件/年) 対策前	平均件数(件/年) 対策後	
2	国	一般国道6号	かすみがうら市	(仮)中貫工業団地入口(北)交差点	H25	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、LED式法定外看板「速度注意⇄交差点あり」、導流帯、右折指導線	7.0	2.0	-71.4%
3	国	一般国道50号	水戸市	石川町交差点周辺※4	H25	追突、右折時、人対車両	カラードットライン、行先案内路面標示、案内標識	16.0	0.0	-100.0%
8	国	一般国道6号	かすみがうら市	(仮)清水(北)交差点周辺※2	H25	追突、右折時	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「速度注意」、LED式法定外看板「速度注意」、カラー舗装	9.8	0.0	-100.0%
10	国	一般国道6号	牛久市	(仮)牛久駅西出口(南)交差点	H25	追突、右折時、正面衝突	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」、法定外看板「追突注意」、カラー舗装	4.8	1.0	-78.9%
11	国	一般国道6号	土浦市	(仮)真鍋跨道橋(南)交差点	H25	追突	減速路面標示(ドットライン)、LED式法定外看板「追突注意⇄合流注意」、防草コンクリート	7.5	1.0	-86.7%
20	国	一般国道6号	土浦市	荒川沖交差点	H25	出会い頭	減速路面標示(ドットライン)、導流帯、右折指導線	3.8	2.0	-46.7%
29	国	一般国道6号	土浦市	原の前交差点	H25	追突、出会い頭	導流帯の改良、指導線	3.3	6.0	84.6%
32	県	一般県道208号	取手市	文巻橋交差点	H25	出会い頭	減速路面標示(ドットライン)、導流帯、横断歩道・停止線の前出し、隅切りゼブラ	2.5	0.0	-100.0%
41	国	一般国道6号	龍ヶ崎市	庄兵衛新田町(区間)	H25	追突	カラードットライン、行先案内路面標示	5.3	2.0	-61.9%
55	国	一般国道50号	筑西市	玉戸(単路区間)	H25	追突、正面衝突	減速路面標示(ドットライン)、路面標示「追突注意」	3.5	1.0	-71.4%
58	国	一般国道6号	かすみがうら市	下土田(単路区間)	H25	追突、正面衝突	減速路面標示(ドットライン)、防草コンクリート	2.0	0.0	-100.0%
								65.3	15.0	-77.0%

対策前：H17-H20(抽出時)年平均 対策後：H26 ■：削減した箇所

②着目事故

No	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	着目事故			着目事故①		着目事故②		着目事故③				
						①	②	③	平均件数(件/年)		増減率	平均件数(件/年)		増減率	平均件数(件/年)		増減率
									対策前	対策後		対策前	対策後		対策前	対策後	
2	国	一般国道6号	かすみがうら市	(仮)中貫工業団地入口(北)交差点	H25	追突	右折時		3.3	2.0	-38.5%	1.8	0.0	-100.0%			
3	国	一般国道50号	水戸市	石川町交差点周辺※4	H25	追突	右折時	人対車両	5.8	0.0	-100.0%	4.3	0.0	-100.0%	2.3	0.0	-100.0%
8	国	一般国道6号	かすみがうら市	(仮)清水(北)交差点周辺※2	H25	追突	右折時		4.5	0.0	-100.0%	2.3	0.0	-100.0%			
10	国	一般国道6号	牛久市	(仮)牛久駅西出口(南)交差点	H25	追突	右折時	正面衝突	2.8	1.0	-63.6%	0.8	0.0	-100.0%	0.5	0.0	-100.0%
11	国	一般国道6号	土浦市	(仮)真鍋跨道橋(南)交差点	H25	追突			6.8	1.0	-85.2%						
20	国	一般国道6号	土浦市	荒川沖交差点	H25	出会い頭			1.5	0.0	-100.0%						
29	国	一般国道6号	土浦市	原の前交差点	H25	追突	出会い頭		2.0	4.0	100.0%	0.8	0.0	-100.0%			
32	県	一般県道208号	取手市	文巻橋交差点	H25	出会い頭			1.0	0.0	-100.0%						
41	国	一般国道6号	龍ヶ崎市	庄兵衛新田町(区間)	H25	追突			4.3	2.0	-52.9%						
55	国	一般国道50号	筑西市	玉戸(単路区間)	H25	追突	正面衝突		2.5	1.0	-60.0%	0.5	0.0	-100.0%			
58	国	一般国道6号	かすみがうら市	下土田(単路区間)	H25	追突	正面衝突		1.5	0.0	-100.0%	0.5	0.0	-100.0%			

対策前：H17-H20(抽出時)年平均 対策後：H26 ■：削減した箇所

2-3. 茨城県事故危険区間【第2期】の 対策実施状況

事故危険区間【第2期】の実施状況について

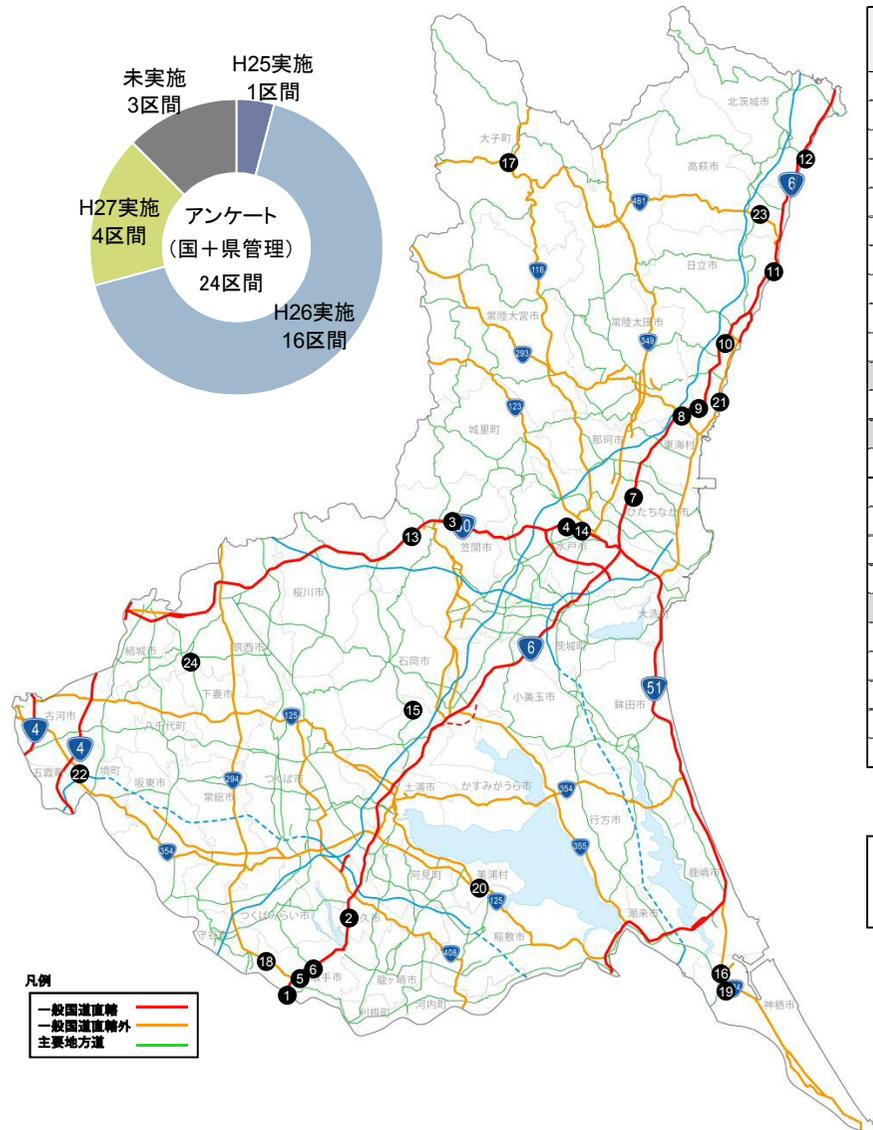
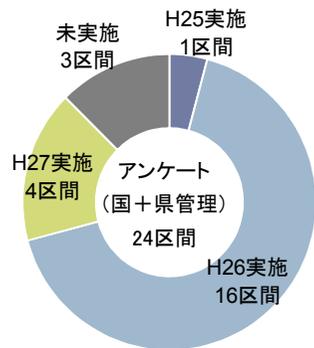
平成24年度、平成25年度に事故危険区間【第2期】として153区間を選定し、対策を立案しました。
現在、122区間で対策を実施、平成29年度までに全区間で対策が完了予定です。

○事故危険区間【第2期】の実施状況

選定区分	管理	区間数	対策済み	H28予定	H29予定	計
事故データによる選定	国	23	21	2	0	23
	県	65	47	16	2	65
アンケートによる選定	国	14	12	2	0	14
	県	10	9	1	0	10
H25事故危険箇所	国	13	12	1	0	13
	県	28	21	7	0	28
合計	国	50	45	5	0	50
	県	103	77	24	2	103
	国+県	153	122	29	2	153

事故危険区間【第2期】の対策実施状況②(アンケートによる選定24区間)

アンケートによる事故危険区間24区間（国14区間 県10区間）の対策実施状況



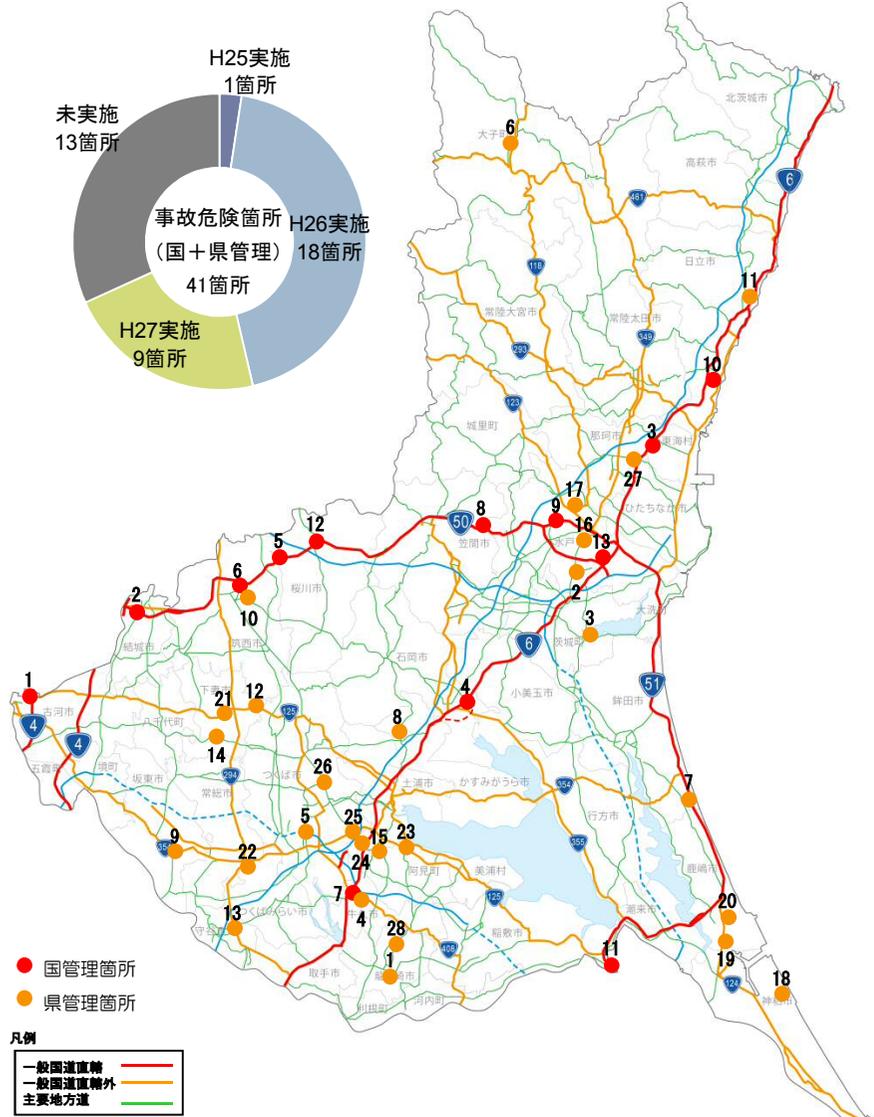
No.	管理	路線名	市町村	箇所名	指摘数	道路管理者で対応可	アンケート内容	実施予定
1	国	一般国道6号	取手市	白山前交差点付近	4	○	・歩道の幅員が狭い ・右折レーンが2車線のため歩行者から死角となる	対策済み(H26)
2	国	一般国道6号	牛久市	牛久駅西側区間	2	○	・信号が短い ・車の出入りが多く渋滞する	対策済み(H26)
3	国	一般国道50号	笠間市	才木交差点	2	○	・50号に出る手前が急カーブで、幅員が狭い	対策済み(H26)
4	国	一般国道50号	水戸市	水戸市松が丘2丁目～西原2丁目	2	○	・歩道の幅員が狭い ・脇道からの見通しが悪い	対策済み(H26)
5	国	一般国道6号	取手市	井野交差点	1	○	・長い下り坂のためスピードが出る	対策済み(H26)
6	国	一般国道6号	取手市	酒詰交差点	1	○	・右折専用の矢印信号がなく無理やり右折しようとする車がある	対策済み(H26)
7	国	一般国道6号	ひたちなか市	田彦交差点	1	○	・変形十字路交差点のため右折時に対向直進車が見づらい	対策済み(H26)
8	国	一般国道6号	日立市	大和田町交差点	1	○	・高速バス停留所があり追突の危険	対策済み(H26)
9	国	一般国道6号	日立市	石名坂交差点	1	○	・交差点が入り組んでいる ・標識がわかりづらい	対策済み(H26)
10	国	一般国道6号	日立市	兎平交差点	1	○	・大型車で水戸方面に左折する場合、対向車線の右折レーンの停止線が交差点側に寄っていて困難	対策済み(H26)
11	国	一般国道6号	日立市	川尻町三丁目(交差点)	1	○	・右折事故が多く発生	H28対策予定
12	国	一般国道6号	北茨城市	大北橋(区間)	1	○	・信号や横断歩道がなく、横切の人が危険	対策済み(H26)
13	国	一般国道50号	笠間市	福田交差点	1	○	・左折矢印表示の際、直進車と衝突の危険	H28対策予定
14	国	一般国道50号	水戸市	松ヶ丘交差点	1	○	・左折時に必要以上にふくらむ ・右折時の合図がない	対策済み(H26)
15	県	主要地方道24号	つくば市	つくば駅前交差点	9	○	・駅利用者の送迎等のための停車が後をたない ・左折車線に停車している場面がある	対策済み(H26)
16	県	一般国道124号	神栖市	神栖市太田原4丁目	3	○	・歩行者、自転車の飛び出しが多い	対策済み(H27)
17	県	一般県道160号	久慈郡大子町	大子清流高校前区間	3	○	・水都線踏切がカーブしているうえ狭く、対向車が全く見えない	対策済み(H26)
18	県	一般国道294号	取手市	戸頭駅前区間	2	○	・車線の変更が多く、合流のための車線変更、渋滞等事故の原因となる	対策済み(H27)
19	県	一般国道124号	神栖市	大野原(区間)	1	○	・中央分離帯でUターンや曲がる車がいる	H28対策予定
20	県	一般国道125号	稲敷郡美浦村	受領(区間)	1	○	・通学路にもかかわらず歩道の整備ができていない ・歩道脇に大木等があり見通しが悪い	対策済み(H27)
21	県	一般国道245号	日立市	水木町2丁目(交差点)	1	○	・一時停止をするも、自転車・バイクの走行が見えづらい状況	対策済み(H27)
22	県	一般国道354号	猿島郡境町	塚崎(区間)	1	○	・長い直線区間となっているためスピードを出した車が通っている ・根により目ぼけがなくなっている	対策済み(H26)
23	県	一般国道461号	高萩市	島名(区間)	1	○	・歩道が狭く、カーブなので、自動車、大型車など通過する際に危険を感じる	対策済み(H25)
24	県	主要地方道15号	筑西市	江(区間)	1	○	・交通量が多い県道カーブ ・高齢者が道路を横断する地点であり、また、小学生の通学路にもなっている	対策済み(H26)

□ : 対策未実施

アンケートによる選定した区間についても、事故データと同様に、事故件数でのフォローアップを予定しています。

事故危険区間【第2期】の対策実施状況③（事故危険箇所41箇所）

事故危険箇所の41箇所（国13箇所 県28箇所）の対策実施状況



No.	管理	路線名	市町村	箇所名	H19～H22 事故件数 (件/4年)			H19～H22 死者数 (人/4年)			死傷事故率	実施予定
					死傷	重傷	死亡	死傷	重傷	死亡		
1	国	一般国道4号	古河市	古河市雷電町2712番地4 ((原三杉町交差点北(区間))	14	2	2	18	0	2	184.6	H28対策予定
2	国	一般国道4号	結城市	結城市小田林380番地1 ((飯小田林南交差点)	19	5	1	30	6	1	277.2	対策済み(H27)
3	国	一般国道6号	那珂市	那珂市向山1249-12～那珂市向山1065 (向山(区間))	12	1	1	18	0	1	134.6	対策済み(H26)
4	国	一般国道6号	石岡市	石岡市石岡4042-1～石岡市石岡3055 (石岡(区間))	22	2	1	25	1	1	190.7	対策済み(H26)
5	国	一般国道50号	桜川市	桜川市上野原地新田311-5～桜川市上野原地新田311-9 (上野原地新田(区間))	9	1	1	20	0	1	125.8	対策済み(H26)
6	国	一般国道50号	筑西市	筑西市野辺133-3～筑西市野辺180-12 (市野辺(区間))	9	2	1	13	1	1	107.1	対策済み(H26)
7	国	一般国道6号	牛久市	牛久市田宮町2-55-3～牛久市田宮町2-50-1 (田宮町(区間))	14	3	1	16	2	1	169.3	対策済み(H26)
8	国	一般国道50号	笠間市	笠間市小原4412-3～笠間市小原4331 (小原(区間))	10	1	1	13	0	1	146.6	対策済み(H22)
9	国	一般国道50号	水戸市	水戸市大塚町1852-1～水戸市大塚町1852-4 (大塚町(区間))	9	1	1	10	0	1	144.4	対策済み(H26)
10	国	一般国道6号	日立市	日立市大沼町1-2 (日立大沼町入口交差点)	13	1	1	17	0	1	262.7	対策済み(H26)
11	国	一般国道51号	稲敷市	稲敷市大谷17-1 (水郷大橋北交差点)	20	2	1	28	2	1	582.1	対策済み(H26)
12	国	一般国道50号	桜川市	桜川市鎌田675-1 (鎌田付近交差点)	9	2	1	12	2	1	223.7	対策済み(H22)
13	国	一般国道50号	水戸市	水戸市元吉田1535-1 (吉田小原交差点)	23	1	1	33	0	1	396.5	対策済み(H25)
1	県	主要地方道5号	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市藤代67-1 (単路部、美繁東交差点)	10	3	1	11	2	1	215.6	対策済み
2	県	主要地方道50号	水戸市	水戸市笠原町1820-731	14	2	1	19	1	1	292.4	H28対策予定
3	県	主要地方道50号	東茨城郡	東茨城郡茨城町海老沢13	8	1	1	9	0	1	166.6	対策済み(H27)
4	県	一般国道408号	牛久市	牛久市上杉田4-22-5付近 (単路部)	14	4	1	19	3	1	182.0	H28対策予定
5	県	主要地方道19号	つくば市	つくば市上横場1882-2	18	4	1	26	3	1	190.6	H28対策予定
6	県	一般国道118号	久慈郡	久慈郡大字町池田1591-2～池田732-3	21	3	1	25	2	1	338.3	対策済み
7	県	一般県道242号	鹿嶋市	鹿嶋市大字武井1610	8	5	1	11	5	2	297.1	対策済み(H27)
8	県	主要地方道64号	かすみがうら市	かすみがうら市上佐谷2117	9	1	1	15	0	1	101.6	対策済み(H26)
9	県	一般国道354号	坂東市	坂東市神田山1708-16番地先	16	1	1	21	1	1	219.6	対策済み(H26)
10	県	主要地方道7号	筑西市	筑西市茂田1220	10	2	1	16	1	1	97.1	対策済み(H26)
11	県	主要地方道10号	日立市	日立市田原町3丁目26地先	15	4	2	25	2	2	192.4	対策済み(H27)
12	県	一般国道125号	下妻市	下妻市高道祖1370番地16～下妻市高道祖1372番地2	10	1	1	15	0	1	156.8	対策済み(H26)
13	県	一般国道294号	守谷市	守谷市中央1-8-1付近 (北園交差点)	25	5	1	31	5	1	797.7	対策済み(H26)
14	県	一般県道357号	下妻市	下妻市宗道12番地3 (宗道交差点)	12	2	1	21	1	1	766.3	対策済み(H26)
15	県	一般県道203号	土浦市	土浦市右都2962-1 (右都3区画)	19	3	1	26	2	1	620.3	H28対策予定
16	県	主要地方道50号	水戸市	水戸市千波町2481	21	1	1	23	0	1	671.3	対策済み(H27)
17	県	一般国道123号	水戸市	水戸市袴塚3-6-26	14	1	1	21	0	1	544.9	H28対策予定
18	県	一般県道117号	神栖市	神栖市知手3-129	8	4	1	14	3	1	522.6	対策済み
19	県	一般国道124号	鹿嶋市	鹿嶋市谷原13-9 (谷原)	11	1	1	17	0	1	230.0	対策済み(H26)
20	県	一般国道124号	鹿嶋市	鹿嶋市宮中27-43 (鹿島庄後西)	12	1	1	14	0	1	250.9	対策済み(H26)
21	県	一般国道125号	下妻市	下妻市高道1305 (高道交差点)	11	1	1	18	0	1	351.9	対策済み(H27)
22	県	一般国道294号	常総市	常総市新井木町100番3 (新井木交差点)	11	2	1	14	1	1	362.0	対策済み(H26)
23	県	一般国道125号	稲敷郡	稲敷郡阿見町中郷2-7-15付近 (東泉橋大西交差点)	16	2	1	20	1	1	424.6	対策済み(H26)
24	県	主要地方道55号	土浦市	土浦市中村南6-2-5	18	2	1	24	1	1	438.5	H28対策予定
25	県	一般国道354号	つくば市	つくば市大角豆2012-23 (大角豆)	18	1	1	25	0	1	391.2	対策済み(H27)
26	県	主要地方道24号	つくば市	つくば市天王台1-1-1 (紫崎)	23	1	1	31	0	1	580.7	対策済み(H27)
27	県	一般国道349号	那珂市	那珂市竹ノ内4-1-2 (竹ノ内)	15	2	1	17	2	1	245.1	H28対策予定
28	県	一般県道243号	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市藤ヶ丘1-1-1付近 (藤ヶ丘中央交差点)	19	2	1	23	1	1	405.5	対策済み(H27)

■ 死傷事故率300件/億台キロ以上 ※No6: 国から県へ移管
□ 対策済み

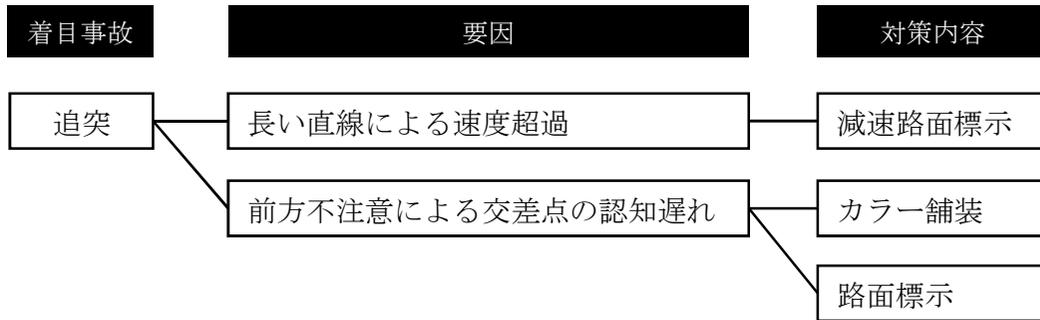
対策実施箇所の紹介 (平成27年に対策を実施した箇所)

【No.6】 県道180号(長岡水戸線)

位置図



要因分析と対策実施内容



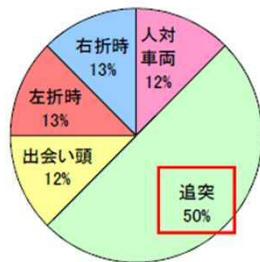
事故発生状況

※H19-H22年

事故率 (件/億台キロ)	管内順位	事故件数
614.1	194	8

事故類型

H19-22年の合計事故件数(8件)



□: 着目事故

対策前



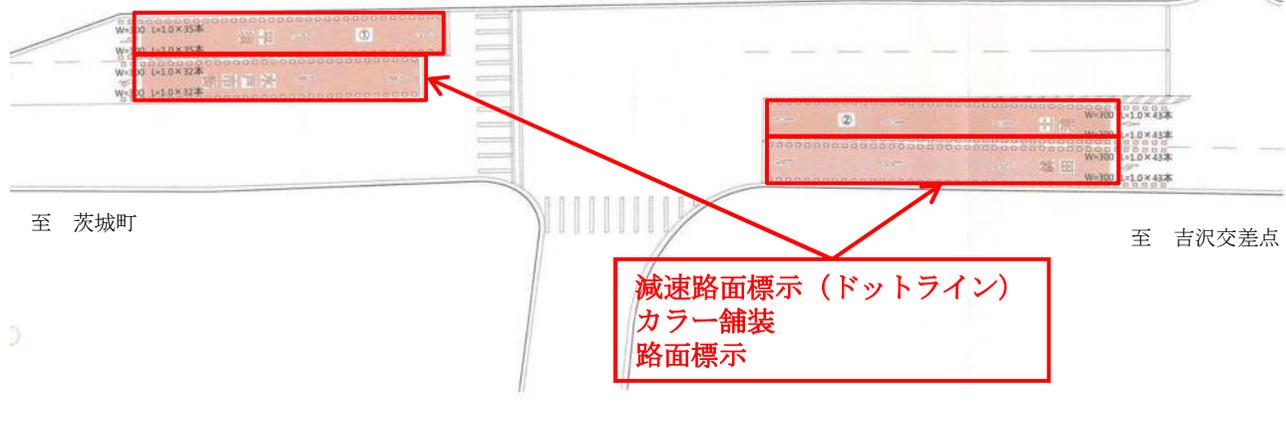
対策後



対策前



対策後



3. 第4次事故危険箇所(案)の対策立案

第4次事故危険箇所の位置づけと今後の進め方 (第17回委員会再掲)

・第3次事故危険箇所同様に第4次事故危険箇所についても事故危険区間として本委員会で事故要因の分析を行い、対策を立案していきます。

【事故危険区間】

成果を上げるマネジメントの取り組み

- ・県毎に地域の課題を踏まえた指標により箇所を抽出

道路安全性向上
プロジェクト
(H17~18)

H22選定

事故危険区間
(第1期)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施

事故ゼロプラン
(代表箇所)

対策効果検証

H24選定

事故危険区間
(第2期)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施

対策効果検証

H26選定

事故危険区間
(第3期)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施

対策効果検証

H28選定

事故危険区間
(第4期)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施

対策効果検証

【事故危険箇所】

社会資本整備重点計画の施策

- ・全国統一の指標により箇所を抽出

H15.7指定

第1次
(H16~20)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施
対策効果検証

H21.3指定

第2次
(H20~24)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施
対策効果検証

H25.7指定

第3次
(H24~28)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施
対策効果検証

H28指定

第4次
(H27~32)

要対策箇所の抽出
対策の立案・実施
対策効果検証

一体となって委員会で
対策案の検討・効果を検証

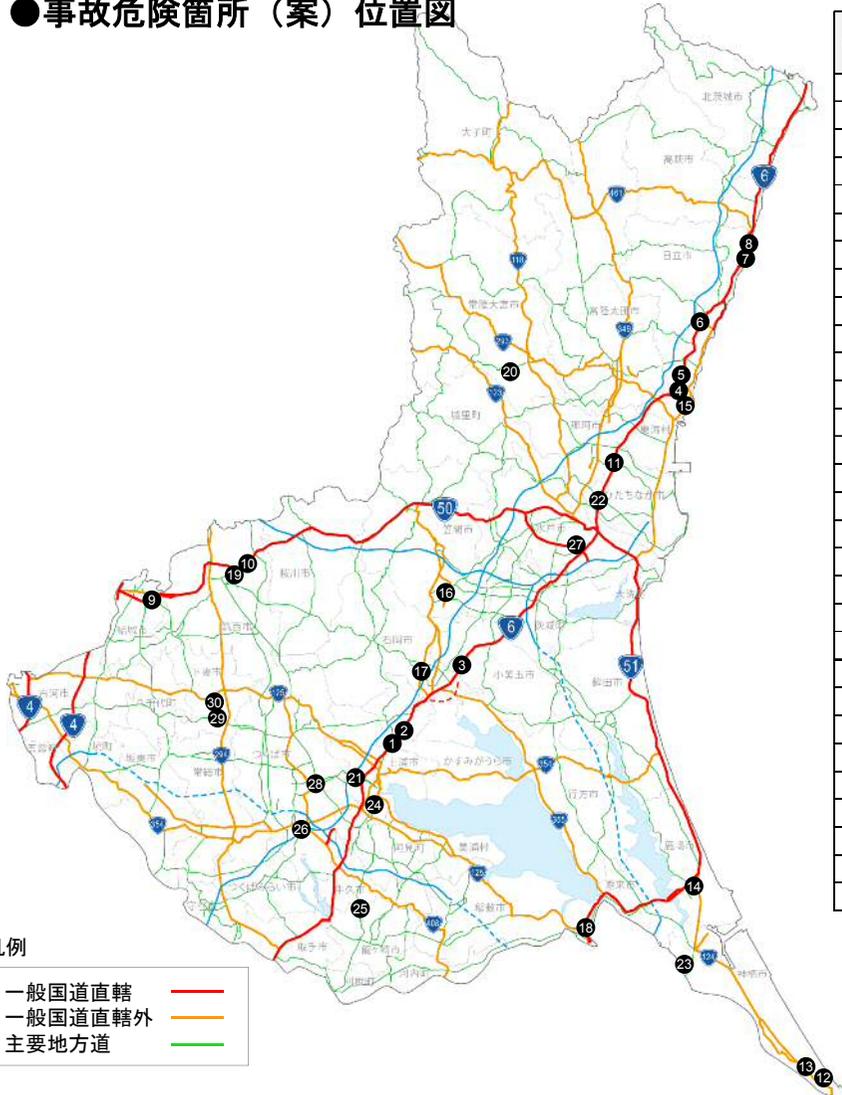
●事故危険区間と事故危険箇所の定義と抽出条件

	事故危険区間 ①529、②114、③126 計769	第4次事故危険箇所(案) 30箇所																																			
定義	事故データに基づく事故の多発区間および市民の声から、事故発生の危険性が高い区間として選定した箇所	事故データに基づく事故危険性の高い区間で、道路整備や交通安全施設等の整備効果が見込まれ、平成32年以内に事業完了する見込みがある箇所																																			
評価する事故データの年次	H22年度選定(H17~20) H24年度選定(H19~22) H26年度選定(H21~24)	抽出基準A(H22~25)																																			
選定基準	<p>■地域毎に基準を設定 データに基づく選定 (以下の何れかを満たす箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>総合的な指標</th> <th>選定指標</th> <th>選定基準</th> <th>管内平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">県下の危険箇所発生指標</td> <td>①死傷事故率</td> <td>300件/億台キロ以上</td> <td>6.1件</td> </tr> <tr> <td>②死傷事故件数</td> <td>31件(平均の1.9倍)以上</td> <td>1.7人</td> </tr> <tr> <td>③死亡者数</td> <td>2人(平均の1.9倍)以上</td> <td>1.3人</td> </tr> <tr> <td>④歩行者自転車事故</td> <td>6件(平均の4.2倍)以上</td> <td>1.9件</td> </tr> <tr> <td>⑤追突事故</td> <td>15件(平均の5倍)以上</td> <td>2.9件</td> </tr> <tr> <td>⑥子供事故</td> <td>3件(平均の2.6倍)以上</td> <td>1.2件</td> </tr> <tr> <td>⑦高齢者事故</td> <td>5件(平均の3.6倍)以上</td> <td>1.4件</td> </tr> <tr> <td>⑧横断歩行者事故</td> <td>5件(平均の3.6倍)以上</td> <td>1.4件</td> </tr> <tr> <td>⑨追突事故</td> <td>21件(平均の5倍)以上</td> <td>4.2件</td> </tr> <tr> <td>⑩正面衝突事故</td> <td>2件(平均の1.9倍)以上</td> <td>1.1件</td> </tr> </tbody> </table>	総合的な指標	選定指標	選定基準	管内平均	県下の危険箇所発生指標	①死傷事故率	300件/億台キロ以上	6.1件	②死傷事故件数	31件(平均の1.9倍)以上	1.7人	③死亡者数	2人(平均の1.9倍)以上	1.3人	④歩行者自転車事故	6件(平均の4.2倍)以上	1.9件	⑤追突事故	15件(平均の5倍)以上	2.9件	⑥子供事故	3件(平均の2.6倍)以上	1.2件	⑦高齢者事故	5件(平均の3.6倍)以上	1.4件	⑧横断歩行者事故	5件(平均の3.6倍)以上	1.4件	⑨追突事故	21件(平均の5倍)以上	4.2件	⑩正面衝突事故	2件(平均の1.9倍)以上	1.1件	<p>■全国統一基準 抽出基準A (以下を全て満たす箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死傷事故率 100件/億台キロ以上 ・重大事故率 10件/億台キロ以上 ・死亡率 1件/億台キロ以上
総合的な指標	選定指標	選定基準	管内平均																																		
県下の危険箇所発生指標	①死傷事故率	300件/億台キロ以上	6.1件																																		
	②死傷事故件数	31件(平均の1.9倍)以上	1.7人																																		
	③死亡者数	2人(平均の1.9倍)以上	1.3人																																		
	④歩行者自転車事故	6件(平均の4.2倍)以上	1.9件																																		
	⑤追突事故	15件(平均の5倍)以上	2.9件																																		
	⑥子供事故	3件(平均の2.6倍)以上	1.2件																																		
	⑦高齢者事故	5件(平均の3.6倍)以上	1.4件																																		
	⑧横断歩行者事故	5件(平均の3.6倍)以上	1.4件																																		
	⑨追突事故	21件(平均の5倍)以上	4.2件																																		
	⑩正面衝突事故	2件(平均の1.9倍)以上	1.1件																																		
	データ以外 ・パブリックコメント、利用者の声(①、②) ・急減速データ、ヒヤリハット(③)	抽出基準B ・特に緊急的、集中的な対策が必要な箇所																																			
選定基準と抽出箇所のイメージ																																					

第4次事故危険箇所(案)の選定(第17回委員会再掲)

- ・ 第4次事故危険箇所(案)として、常陸河川国道11か所、茨城県19か所の合計30か所を選定しました。
- ・ 本委員会におきまして、常陸河川国道管内の事故危険箇所(案)の対策案を提示します。
- ・ 次ページ以降に、着目事故ごとに対策内容を整理しています(個別箇所は参考資料で整理)。

●事故危険箇所(案)位置図



No.	管理者	路線名	区間名称	選定基準	選定基準A 全事故					選定基準B ETC2.0 急挙動	
					H22~H25事故件数	死傷	重大	死亡	死傷事故率		重大事故率
1	常陸河川国道	一般国道6号	上稲吉南交差点	A	12	3	1	262.08	65.52	21.84	
2	常陸河川国道	一般国道6号	上稲吉交差点	A	7	1	1	152.88	21.84	21.84	
3	常陸河川国道	一般国道6号	竹原交差点	A	6	2	1	158.25	52.75	26.37	
4	常陸河川国道	一般国道6号	日立市森山町2丁目(区間)	A	23	2	1	210.15	18.27	9.14	
5	常陸河川国道	一般国道6号	台原団地入口交差点	A	13	1	1	237.56	18.27	18.27	
6	常陸河川国道	一般国道6号	桐木田交差点付近(区間)	A	9	1	1	180.54	20.06	20.06	
7	常陸河川国道	一般国道6号	伊師浜交差点	A	4	2	1	129.99	64.99	32.50	
8	常陸河川国道	一般国道6号	伊師交差点付近(区間)	A	5	1	1	150.45	30.09	30.09	
9	常陸河川国道	一般国道50号	鹿窪運動公園入口交差点	A	5	1	1	186.75	37.35	37.35	
10	常陸河川国道	一般国道50号	筑西市門井(区間)	A	9	1	1	155.56	17.28	17.28	
11	常陸河川国道	一般国道6号	佐和中宿交差点付近(区間)	B	5	0	0	217.92	0.00	0.00	急減速
12	茨城県	一般国道124号	本新町交差点	A	9	2	1	425.45	94.55	47.27	
13	茨城県	一般国道124号	神栖市波崎(区間)	A	9	2	1	125.13	27.81	13.90	
14	茨城県	一般国道124号	勤労文化会館西交差点	A	16	5	1	326.60	102.06	20.41	
15	茨城県	一般国道245号	日立市大みか町4丁目(区間)	A	8	1	1	102.13	12.77	12.77	
16	茨城県	一般国道355号	笠間市押辺(区間)	A	15	3	1	117.94	23.59	7.86	
17	茨城県	一般国道355号	石岡市鹿の子2丁目(区間)	A	9	1	1	122.78	13.64	13.64	
18	茨城県	主要地方道 水戸鉾田佐原線	稲敷市西代(区間)	A	11	1	1	119.39	10.85	10.85	
19	茨城県	主要地方道 筑西つくば線	筑西市直井(区間)	A	8	1	1	170.30	21.29	21.29	
20	茨城県	主要地方道 常陸大宮御前山線	常陸大宮市若林(区間)	A	9	2	1	101.20	22.49	11.24	
21	茨城県	主要地方道 土浦境線	土浦市相毛(交差点)	A	10	2	1	231.83	46.37	23.18	
22	茨城県	主要地方道 那珂湊那珂線	市毛十字路交差点付近(区間)	A	10	1	1	235.66	23.57	23.57	
23	茨城県	主要地方道 成田小見川鹿島港線	神栖市息栖(区間)	A	8	1	1	115.87	14.48	14.48	
24	茨城県	主要地方道 土浦電ヶ崎線	土浦市小岩田西2丁目(交差点)	A	10	2	1	1,274.29	254.86	127.43	
25	茨城県	主要地方道 土浦電ヶ崎線	龍ヶ崎市若柴町(区間)	A	8	1	1	120.50	15.06	15.06	
26	茨城県	一般県道 谷田部牛久線	つくば市谷田部(区間)	A	10	2	1	227.97	45.59	22.80	
27	茨城県	一般県道 長岡水戸線	水戸市元吉田町(区間)	A	11	1	1	174.48	15.86	15.86	
28	茨城県	一般県道 花室牛久線	吾妻1丁目南交差点	A	12	1	1	251.81	20.98	20.98	
29	茨城県	一般県道 谷和原筑西線	下妻市田下(区間)	A	16	1	1	229.70	14.36	14.36	
30	茨城県	一般県道 谷和原筑西線	下妻市小島(区間)	A	9	4	2	129.21	57.43	28.71	

凡例

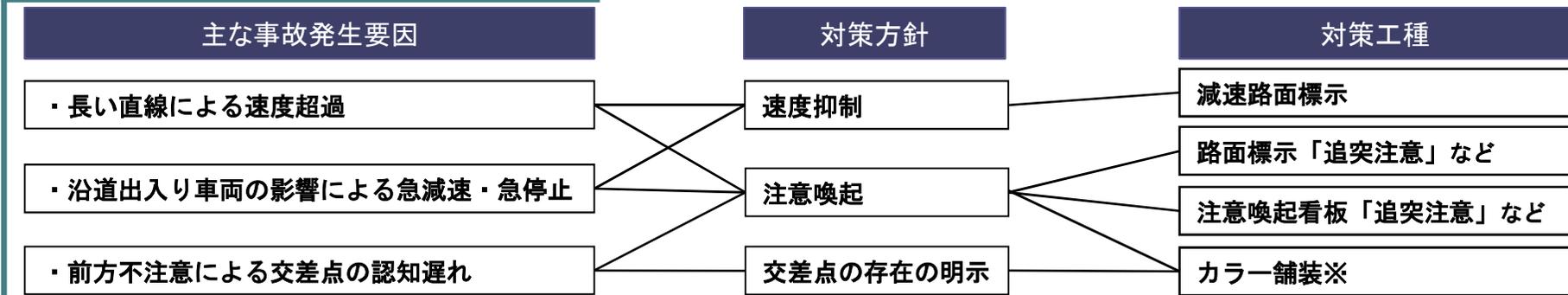
- 一般国道直轄 (Red line)
- 一般国道直轄外 (Orange line)
- 主要地方道 (Green line)

事故危険箇所（案）の対策内容（1/5）

・選定された第4次事故危険箇所(案)に対して、「交差点部における追突事故」・「交差点部における右折時事故」・「交差点部における出会い頭事故」・「交差点部におけるその他の事故」・「単路部、小交差点部における追突事故・出会い頭事故」等に着目し、対策内容を整理しました。

■交差点部における追突事故の対策例

主な事故発生要因に対する対策方針と対策工種



※死亡事故発生箇所、重大事故発生箇所、対策実施済みで効果が十分でない箇所

主な事故対策実施イメージ

注意喚起看板の設置
(夜間事故が多い場合 LED式看板の設置)

減速路面標示の設置
路面標示「追突注意」

※カラー舗装
※死亡事故発生箇所、重大事故発生箇所、対策実施済みで効果が十分でない箇所

国道51号 銚田市
国道6号 取手市 (LED式)

空走距離(2.5秒) 30~45m

制動停止視距離 40~75m

停止線~テーバ端

3秒走行長 35~50m

減速路面標示の設置

※道路の設計速度により、長さが変わります。

国道6号 日立市石名坂

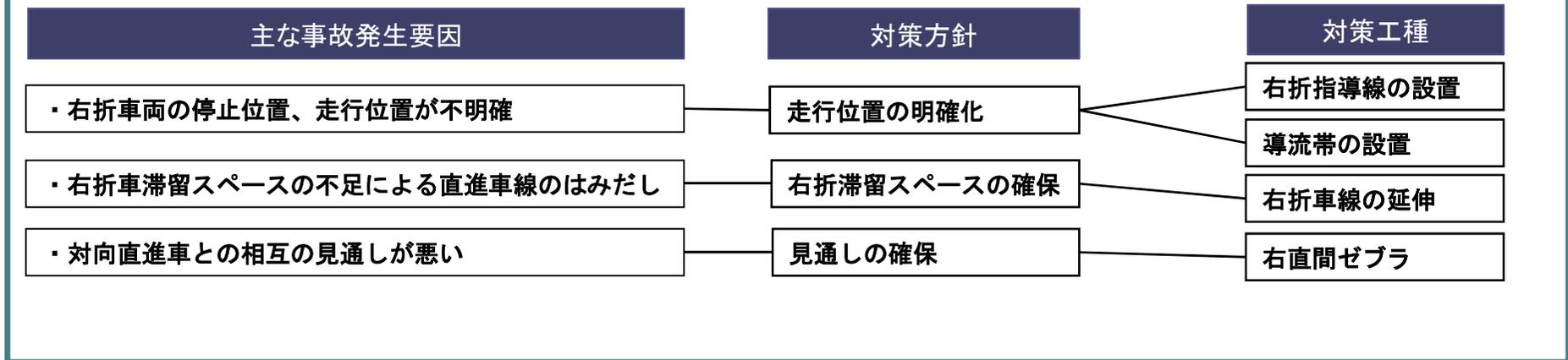
国道6号 東茨城郡茨城町

国道354号 つくば市下広岡

事故危険箇所（案）の対策内容（2/5）

■交差点部における右折時事故の対策例

主な事故発生要因に対する対策方針と対策工種



主な事故対策実施イメージ

**右折滞留スペースの確保
(右折車線の延伸)**
国道6号 石岡市

**走行位置の明確化
(導流帯の設置)**
国道51号 水戸市

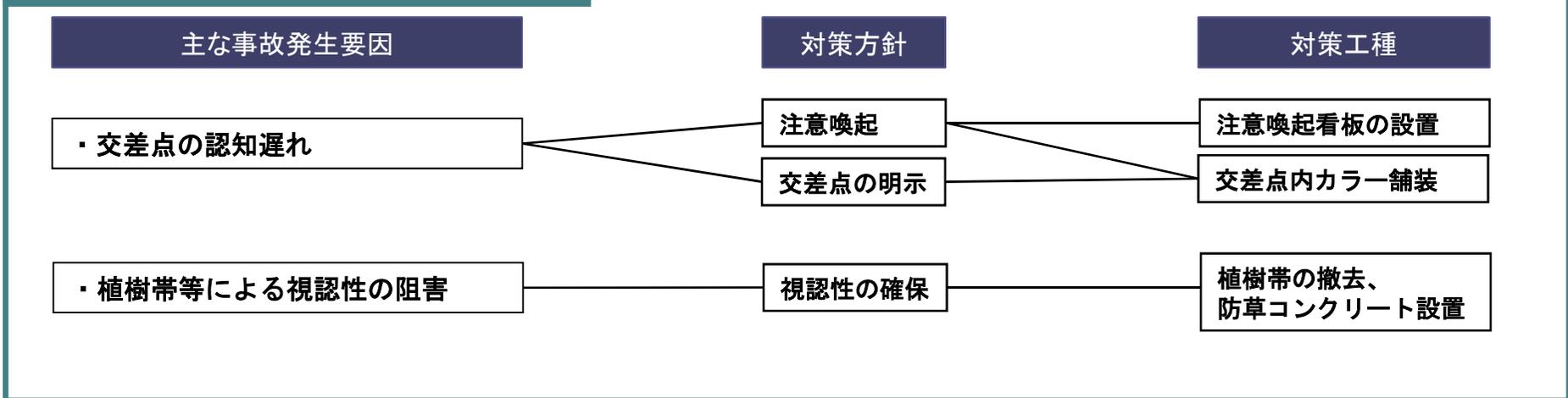
右直間ゼブラ

**走行位置の明確化
(右折指導線の設置)**
国道6号 取手市

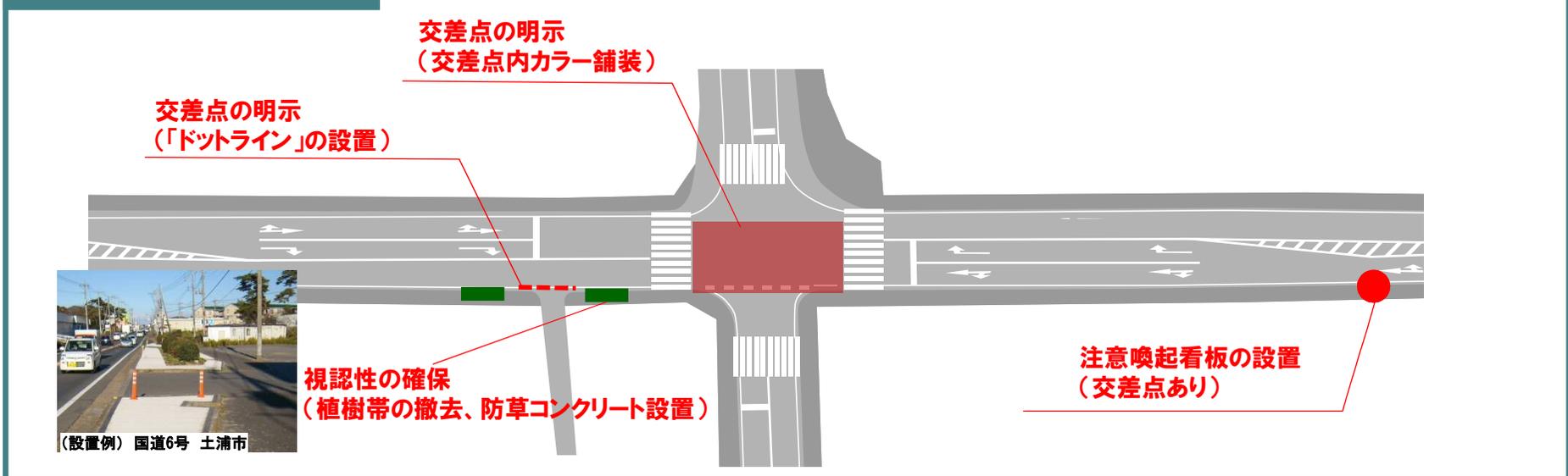
事故危険箇所（案）の対策内容（3/5）

■交差点部における出会い頭事故の対策例

主な事故発生要因に対する対策方針と対策工種



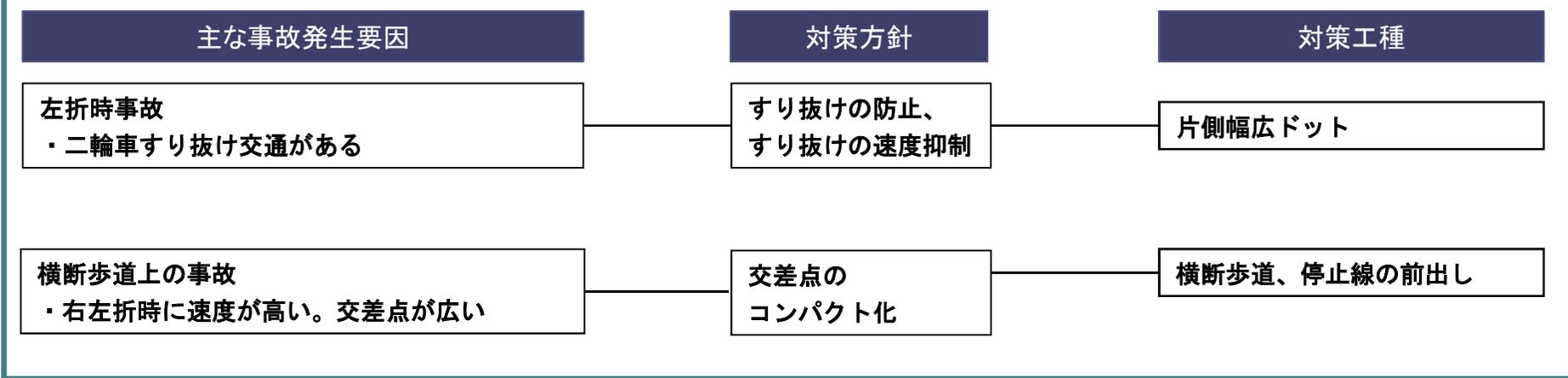
主な事故対策実施イメージ



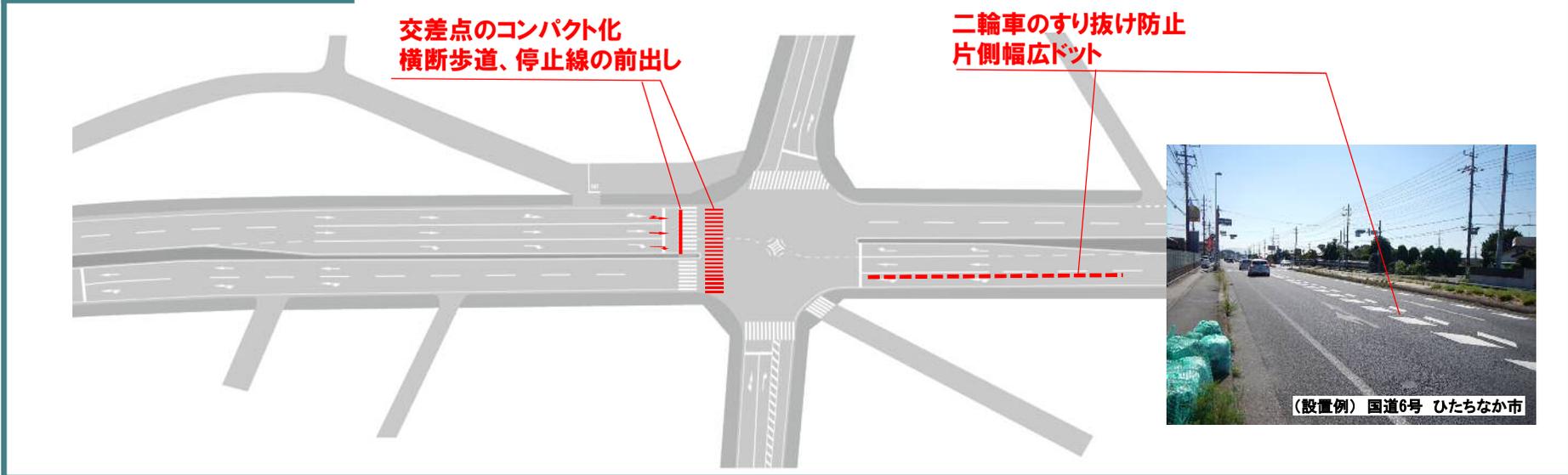
事故危険箇所（案）の対策内容（4/5）

■ 交差点部におけるその他の事故対策例

主な事故発生要因に対する対策方針と対策工種



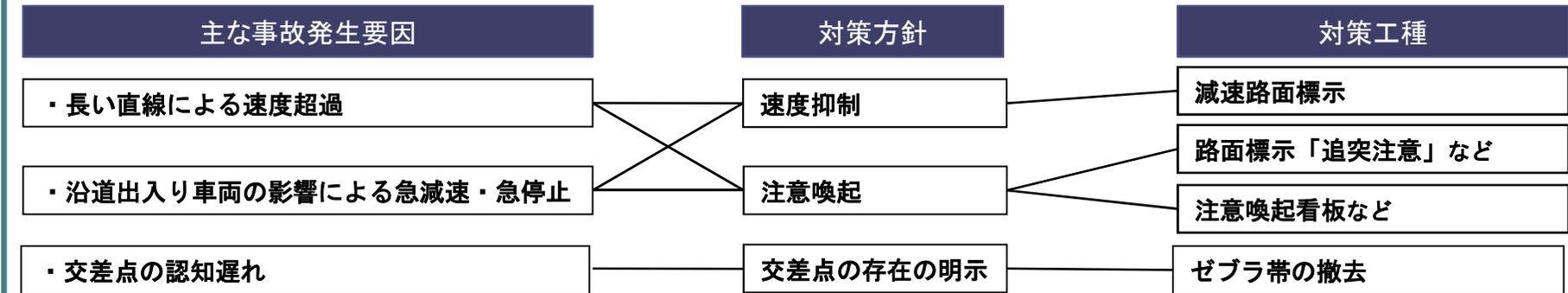
主な事故対策実施イメージ



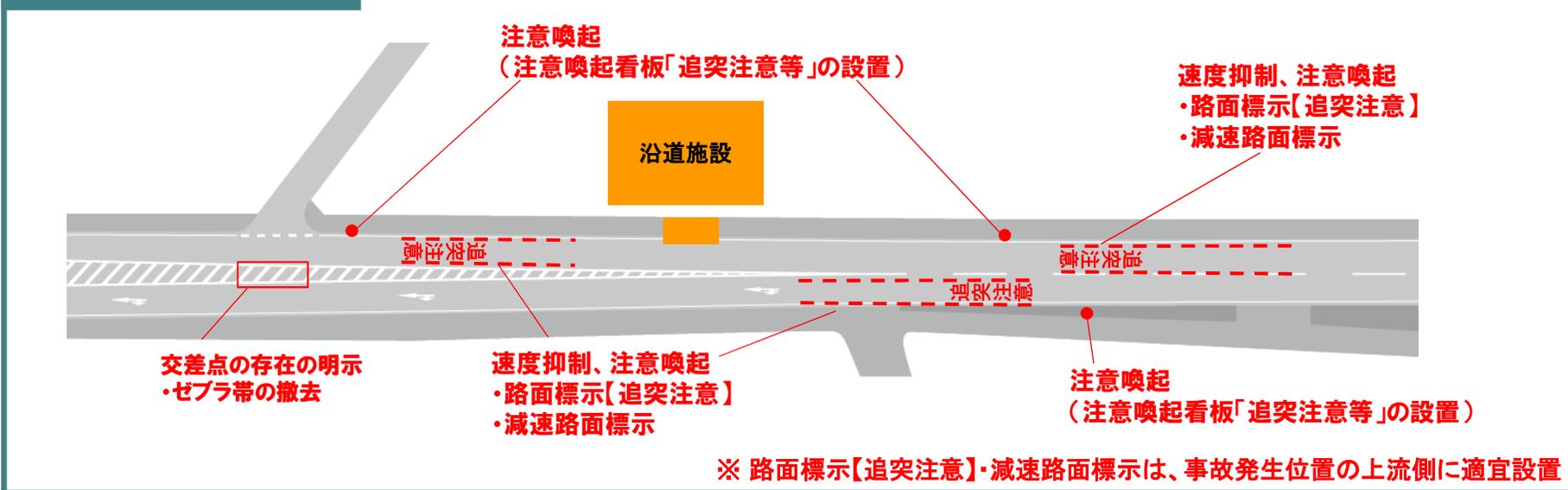
事故危険箇所（案）の対策内容（5/5）

■単路部、小交差点部における追突、出会い頭事故の対策例

主な事故発生要因に対する対策方針と対策工種



主な事故対策実施イメージ

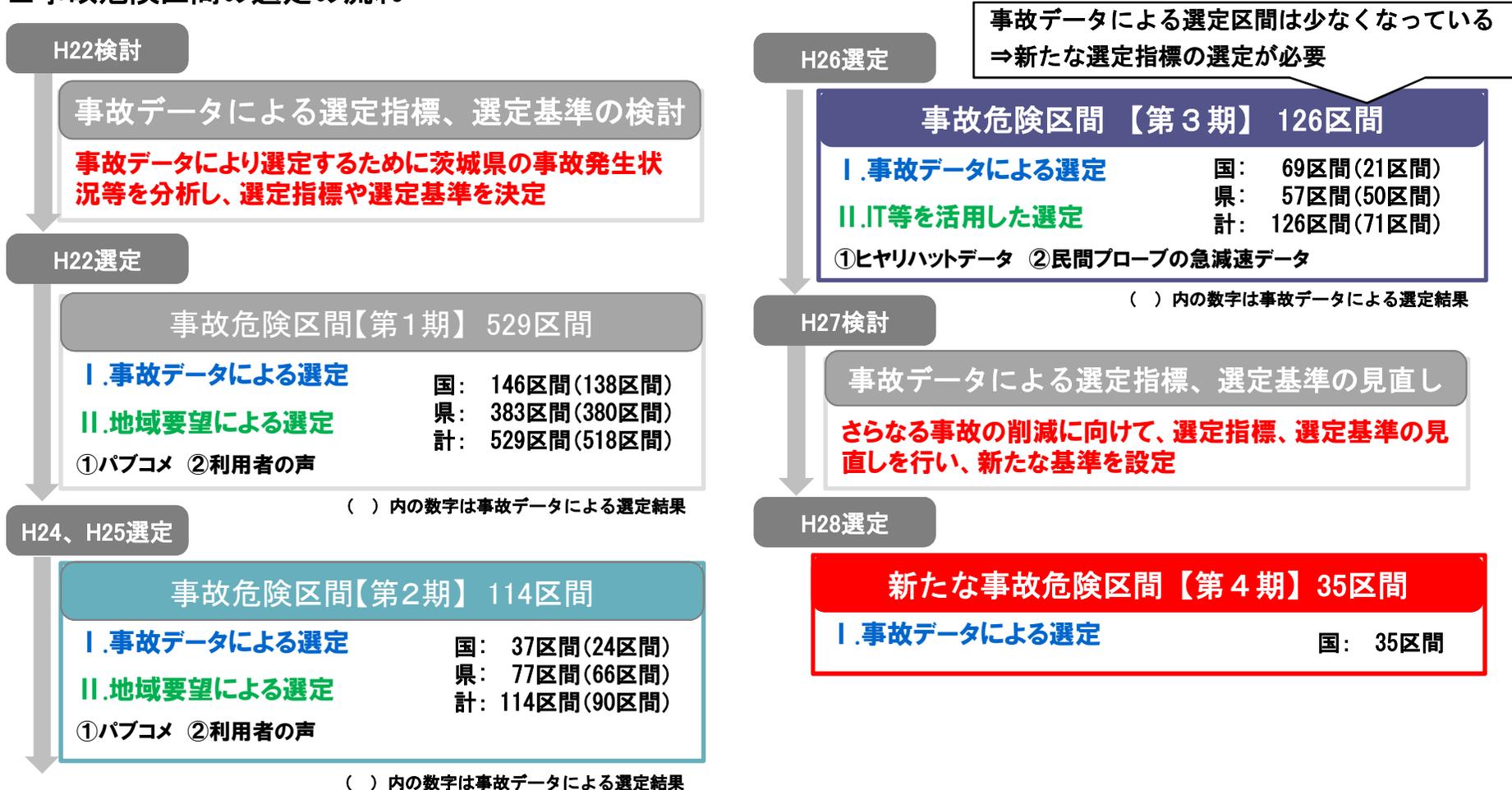


4. 新たな事故危険区間【第4期】の選定

新たな事故危険区間【第4期】の選定手法について

・事故危険区間【第1期】、【第2期】、【第3期】は、H22年に検討した選定指標、選定基準を用いて区間抽出を行っていましたが、新たな事故危険区間【第4期】では、「事故データによる選定指標、選定基準の見直し」をした上で、区間の選定を行うことになりました。

■事故危険区間の選定の流れ



事故データの選定（事故危険区間【第4期】の選定指標値）

事故危険区間【第4期】の事故データによる選定指標については、今後のさらなる事故の削減に向けて、以下の方針で選定指標の変更を行いました。

- ・対象とする区間を国管理は総事故8件から4件に変更
- ・選定基準を更新
- ・高齢者事故は1当、2当の事故を含める
- ・新たな指標の追加（工作物接触事故、二輪車事故）

事故危険区間の選定方法

■使用するデータ

最新の4年分の交通事故データ
(H22-H25)

■選定指標・基準

新たな選定指標(右表参照)

※ 国管理は総事故件数が**4件**/4年以上の区間とする。

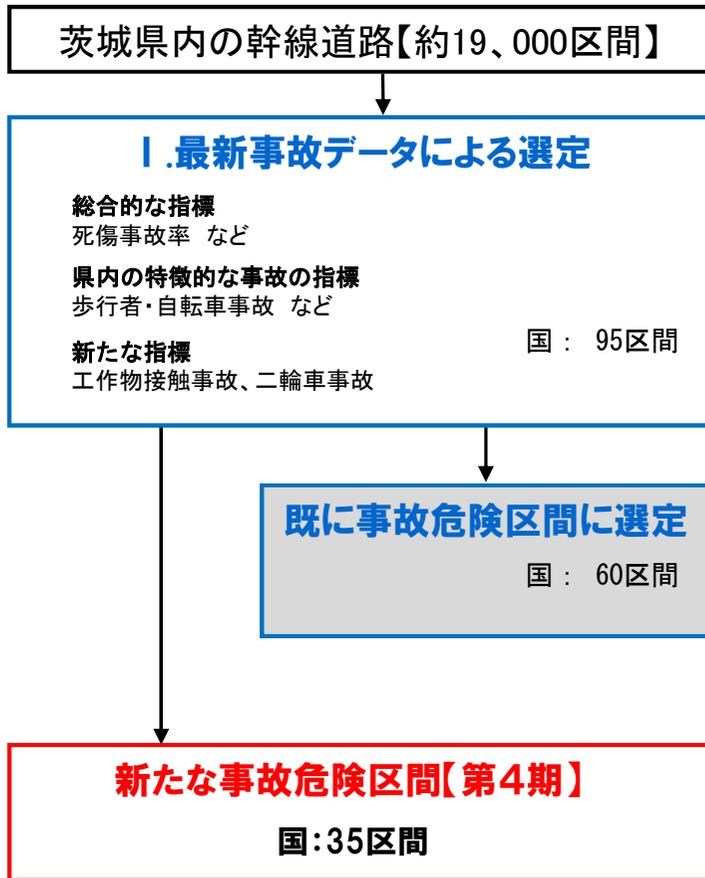
選定指標

変更箇所は赤字

区分	選定指標	選定基準 (変更前)	選定基準 (変更後)	平均値 H22-25	選定指標の根拠	(参考) 選定指標 H22-25
総合的な指標	①死傷事故率	300件/億台 キロ 以上	300件/億台 キロ 以上			
	②死傷事故件数	31件以上	23件以上	4.6件	平均事故件数の 5倍	23件
	③死亡者数	2人以上	2人以上	1.1人	ワースト1位	3人
県内の 特徴的な事故に 関する指標	④歩行者自転車事故	8件以上	8件以上	1.9件	ワースト1位	11件
	⑤夜間事故	15件以上	12件以上	2.9件	平均事故件数の 5倍	12件
	⑥子供事故	3件以上	3件以上	1.2件	ワースト1位	4件
	⑦高齢者事故 (1当、2当を含む)	5件以上	5件以上	1.4件	ワースト1位	8件
	⑧横断歩行者事故	5件以上	5件以上	1.2件	ワースト1位	5件
	⑨追突事故	21件以上	17件以上	3.4件	平均事故件数の 5倍	17件
新たな 指標	⑩正面衝突事故	2件以上	2件以上	1.1件	ワースト1位	2件
	⑪工作物接触事故	—	2件以上	1.0件	ワースト1位	2件
	⑫二輪車事故	—	7件以上	1.4件	平均事故件数の 5倍	7件

新たな事故危険区間【第4期】の選定結果

・ 新たな選定指標を基に、事故危険区間【第4期】として、35区間を選定しました。



選定指標

	選定基準	該当区間数				
		常陸河川		宇都宮		
		選定1期済み区間を除外	選定1期済み区間を含む	選定1期済み区間を除外	選定1期済み区間を含む	
従来の指標	死傷事故率	300	7	48	1	3
	死傷事故件数	23	1	4	0	0
	死者数	2	3	5	0	0
	歩行者・自転車×車両事故件数	8	0	1	0	0
	夜間事故件数	12	0	3	0	0
	子供(15歳以下)事故件数 1当2当	3	0	2	0	0
	高齢者(65歳以上)事故件数 1当2当	5	15	24	0	3
	横断者歩行者事故件数	5	0	1	0	0
	追突事故件数	17	3	10	0	0
	正面衝突事故件数	2	6	9	0	0
新たな指標	工作物衝突事故件数	2	1	1	0	0
	二輪車事故件数	7	1	2	0	0
総該当区間数		34	90	1	5	

5. 合同現地診断について

合同現地診断 実施要領（案）

合同現地診断の視点

合同現地診断については、過年度に対策を実施した箇所の中で、対策前と比べて効果が発現していない箇所もしくは、第4次事故危険箇所（案）の対策検討箇所について、現地を確認していただくことを予定しています。

時期は平成28年10月を予定しています。

合同現地診断候補箇所

○事故危険区間【第1期】(61区間)

H22対策済(H23～H26の事故データで評価)【総合評価】: 2区間

H24対策済(H25～H26の事故データで評価)【中間評価】: 22区間

H25対策済(H26の事故データで評価)【速報値】: 11区間

対策前と比べて効果が発現していない箇所

- No.27 国 一般国道6号 牛久市 柏田町交差点
- No.12 県 一般県道208号 龍ヶ崎市 小通幸谷交差点
- No.13 県 主要地方道55号 つくば市 台坪入口交差点
- No.40 県 一般県道273号 つくば市 屋敷台交差点
- No.43 県 一般国道354号 つくば市 下広岡交差点（※H27実施済）
- No.24 国 一般国道50号 水戸市 大塚町交差点
- No.61 国 一般国道6号 高萩市 東本町3丁目(単路区間)

○第4次事故危険箇所(案) (11箇所)

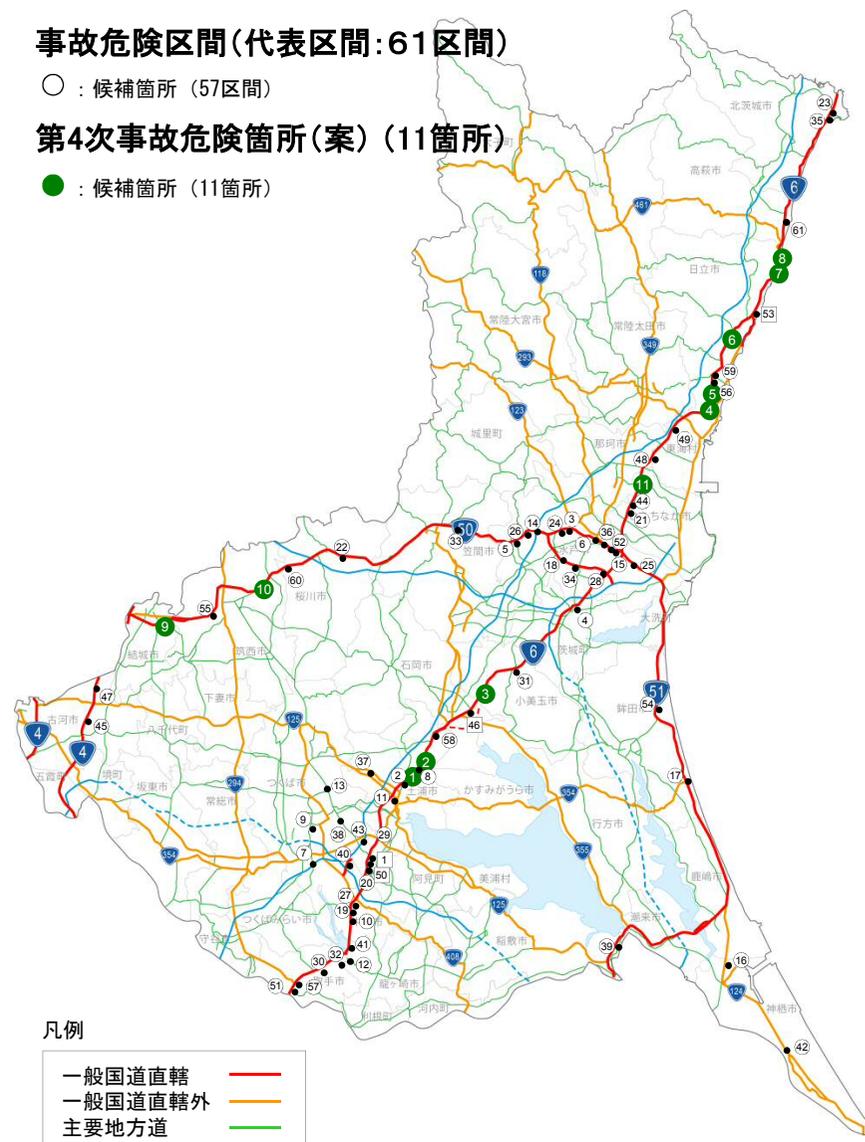
合同現地診断候補箇所

事故危険区間(代表区間:61区間)

○ : 候補箇所 (57区間)

第4次事故危険箇所(案) (11箇所)

● : 候補箇所 (11箇所)



6. 今後のスケジュール

今年度の安全性向上委員会のスケジュール

○本日の委員会

1. 第17回委員会における主な指摘事項と対応
2. これまでの事故ゼロプランの取り組み
3. 第4次事故危険箇所(案)の対策立案
4. 事故危険区間【第4期】の選定
5. 合同現地診断について
6. 今後のスケジュール

○合同現地診断(平成28年10月実施予定)

○次回 安全性向上委員会(平成29年2月開催予定)

- ・新たな事故危険区間【第4期】の対策立案について
- ・合同現地診断結果について
- ・生活道路の安全対策の進捗状況について